

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン エリザベトオンガクダイガク 学校法人 エリザベト音楽大学								
フリガナ大学の名称	エリザベトオンガクダイガク エリザベト音楽大学								
大学本部の位置	広島市中区鞆町4番15号								
大学の目的	大学の目的は、カトリックの世界観を基調とした全人間教育であり、芸術、特に音楽の観点から人格完成を強調する。それゆえ、音楽芸術における高度な専門知識と技能の修得を目指し、良識ある音楽家を育成する。								
新設学部等の目的	18歳人口の減少による受験者数の減少傾向、また長きにわたるコロナ禍による音楽活動の制限等により、音楽の道を志す者も激減の状況にある。そのため令和6年度入学生より、音楽文化学科の入学定員を20名から15名に、演奏学科の入学定員を50名から35名にそれぞれ減員することとし、徹底した指導のもと、将来、演奏家あるいは指導者として社会に貢献できる豊かな教養ある人材を育てる。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	音楽学部 音楽文化学科	年	人	年次人	人	学士（音楽）	年月 第 年次 令和6年4月 第1年次	広島市中区鞆町4番15号	
	音楽学部 演奏学科	4	15 (20)	— (—)	60 (80)	学士（音楽）	令和6年4月 第1年次	広島県東広島市西条町田口239番地	
	計	—	—	—	—	—	—	—	
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計	単位			
		科目	科目	科目	科目	単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設	音楽学部 音楽文化学科	10人 (10)	6人 (5)	2人 (2)	0人 (0)	18人 (17)	0人 (0)	40人 (44)
		音楽学部 演奏学科	4 (4)	7 (7)	5 (2)	0 (1)	16 (14)	0 (0)	80 (87)
		計	14 (14)	13 (12)	7 (4)	0 (1)	34 (31)	0 (0)	120 (131)
	既設		()	()	()	()	()	()	()
			()	()	()	()	()	()	()
		計	()	()	()	()	()	()	()
合計		()	()	()	()	()	()	()	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員	17 (16)	2 (3)		人		19 (19)	人	
	技術職員	2 (2)	0 (0)				2 (2)		
	図書館専門職員	3 (3)	0 (0)				3 (3)		
	その他の職員	0 (0)	3 (3)				3 (3)		
計		22 (21)	5 (6)				27 (27)		

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	32,484 m ²	0 m ²	0 m ²	32,484 m ²				
	運 動 場 用 地	8,279 m ²	0 m ²	0 m ²	8,279 m ²				
	小 計	40,763 m ²	0 m ²	0 m ²	40,763 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²				
	合 計	40,763 m ²	0 m ²	0 m ²	40,763 m ²				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		13,395 m ² (13,395 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	13,395 m ² (13,395 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数	室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
		{ }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }		
	計	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }	{ }		
図書館		面積 m ²	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
体育館		面積 m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	経費の見積り								
	教員1人当り研究費等		212千円	212千円	212千円	212千円	—	—	
	共同研究費等		—	—	—	—	—	—	
	図書購入費	2,900千円	2,900千円	2,900千円	2,900千円	2,900千円	—	—	
	設備購入費	26,100千円	20,000千円	18,000千円	15,000千円	15,000千円	—	—	
	学生1人当り納付金								
	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	音楽文化学科	1,900千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	— 千円	— 千円		
	演奏学科	1,475千円	1,175千円	1,175千円	1,175千円	— 千円	— 千円		
	音楽文化学科 幼児音楽教育専修								
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	エリザベト音楽大学							
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地
	音楽学部	年	人	年次	人		0.83倍		広島市中区幟町4 番15号 広島県東広島市西 条町田口239番地
	音楽文化学科	4	20	— 人	80	学士 (音楽)	0.76	平成13年度	
	演奏学科	4	50	—	200	学士 (音楽)	0.87	平成13年度	
	音楽研究科修士課程						0.82		
	音楽学専攻	2	3	—	6	修士 (音楽)	1.66	平成2年度	
	宗教音楽学専攻	2	2	—	4	修士 (音楽)	0.25	平成2年度	
	声楽専攻	2	3	—	6	修士 (音楽)	2.00	平成2年度	
	器楽専攻	2	12	—	24	修士 (音楽)	0.41	平成2年度	
音楽研究科博士後期課程						0.22			
音楽専攻	3	3	—	9	博士 (音楽) 又 は (音楽学)	0.22	平成5年度		
附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人エリザベト音楽大学 収容定員変更に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
エリザベト音楽大学				エリザベト音楽大学				
音楽学部				音楽学部				
音楽文化学科	20	-	80	<u>音楽文化学科</u>	<u>15</u>	-	<u>60</u>	定員変更(△5)
(うち幼児音楽教育専修)	(10)	-	(40)	(うち幼児音楽教育専修)	(10)	-	(40)	
演奏学科	50	-	200	<u>演奏学科</u>	<u>35</u>	-	<u>140</u>	定員変更(△15)
計	70		280	計	<u>50</u>		<u>200</u>	

校地校舎等の図面

①広島県内における位置関係の図面



2校地間の距離、移動時間、交通手段

距離：約 38 km 移動時間：：約 70 分

幟町校地 → JR 広島駅 → JR 西条駅 → 西条校地
徒歩 12 分 JR 山陽本線 35 分 バス 20 分
約 1 km 約 32 km 約 5 km

②最寄駅からの距離や交通機関がわかる図面
 幟町校地



JR 広島駅南口から徒歩約 12 分
 市内電車またはバス「銀山町」下車 徒歩約 4 分
 アストラムライン「県庁前」下車 徒歩約 15 分

西条校地

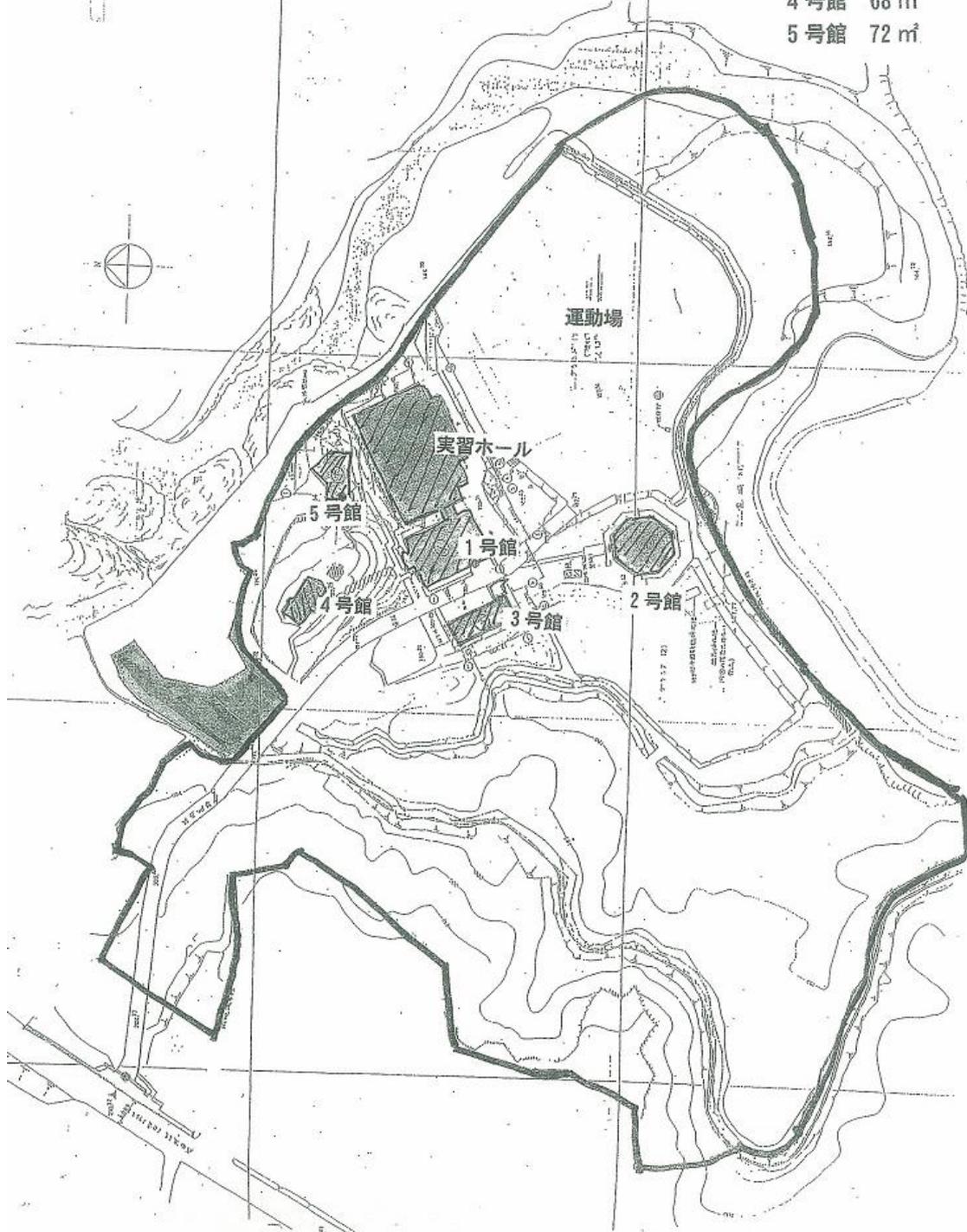


JR 西条駅からバスで約 20 分

西条校地

・校地面積 35,873 m²

校舎面積	1号館、実習ホール
	1399 m ²
	2号館 243 m ²
	3号館 125 m ²
	4号館 68 m ²
	5号館 72 m ²



エリザベト音楽大学学則

第1章 総 則

第1条 本大学は、カトリシズムの精神に基づいて教育を施し、広く知識を授けるとともに、深く音楽芸術に関する理論及び技能を教授研究し、良識ある音楽家を育成することを目的とする。

第2条 本大学は、その教育研究水準の向上を図るとともに、目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価を行うに当たり、必要な事項は別に定める。

第2章 学部・学科の組織

第3条 本大学に次の学部・学科を置く。

音楽学部 音楽文化学科

音楽学部 演奏学科

2 前条に定める学部、学科の専修・専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別に定める。

第3章 教育課程

第4条 授業科目の種類及び単位数は、別表Iのとおりとする。

第4章 履修方法

第5条 本大学の修業年限は4年とする。ただし、休学期間を除き8年をこえて在学することはできない。

第6条 授業科目の課程修了の認定は、試験等によって行い、その認定を得た学生には単位を与える。

第7条 学業成績の評価は、秀・優・良・可及び不可の5種として、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。その他必要な事項は別に定める。

第8条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、個人指導による音楽実技の授業については、別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業作品、卒業演奏等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

第9条 本大学が、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

第10条 本大学が、教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、第9条により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第11条 本大学が、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本大学が、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

第5章 卒業及び学位

第12条 卒業の要件は、本大学に4年以上在学し、124単位以上を修得することとする。ただし、本大学において学習態度が良好であると認められ、かつ成績優秀な学生については、上記卒業要件中の在学年数を、3年以上とすることができる。

2 本大学を卒業した者に対して、学士の学位を授与するものとする。

3 学位の名称は「学士（音楽）」とする。

4 本大学の学位を授与された者は、学位の名称を用いるときは、「学士（音楽）エリザベト音楽大学」とする。

第13条 教育職員免許状を得ようとする者は、前条に規定する単位の外に教育職員免許法及び同法施行規則に規定する単位を修得しなければならない。

2 前項により、取得できる教員免許状の種類は、次のとおりである。

学 部	学 科	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
音 楽 学 部	音楽文化学科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	音 楽
	音楽文化学科 幼児音楽教育専修(注)	幼 稚 園 教 諭 一 種 免 許 状	
	演奏学科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	音 楽

注：幼児音楽教育専修は、初等教育教員（幼稚園教諭）養成を主たる目的とする学科等。

第6章 入学・退学・休学・留学・転学及び転科

第14条 入学期は、学期の始めとする。

第15条 入学志願者は、本大学所定の書類に入学検定料を添えて願出するものとする。

第16条 本大学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当し、かつ本大学所定の入学検定に合格した者とする。

(1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者。

- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者。
- (7) 本大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

第17条 次の各号の一つに該当するものは、前条の規定にかかわらず、選考の上、相当の年次に入学を許可することがある。

- (1) 本大学を退学した者で、退学後2年以内に再入学を願い出た者。
- (2) 経済的事由で除籍されたものが、除籍後2年以内に再入学を願い出て、入学に際して、滞納期間の学費を納入し、当該学期の学費を全額前納した者。
- (3) 他の大学の学生で、本大学に転学を願い出た者。
- (4) 他の大学又は短期大学を卒業(見込みを含む)した者で、本大学に編入学を願い出た者。

第18条 入学を許可された者は、所定の期間内に保証人連署の誓約書に入学金を添えて提出しなければならない。

2 前項の手続きを履行しない者は、入学の許可を取り消すことがある。

第19条 病気又はやむを得ない事由により退学しようとする者は、医師の診断書又は詳細な事由書を添えて保証人連署をもって願い出て、学長の許可を受けなければならない。

2 次の各号の一つに該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納付しない者。
- (2) 第5条に定める在学期間をこえた者。
- (3) 第20条第2項に定める休学期間をこえてなお就学できない者。

第20条 病気又はやむを得ない事由により休学しようとする者は、医師の診断書又は詳細な事由書を添えて保証人連署をもって願い出て、学長の許可を受けなければならない。

2 休学の期間は、引き続き1年をこえることができない。ただし、特別の事情があるときは、更に1年以内の休学を許可することがある。

3 休学の期間は、通算して2年をこえることができない。

4 休学の期間内であっても事故がやんだときは、願い出により復学を許可することができる。

5 休学の期間は、第5条に定める在学期間に含めない。

第20条の2 本大学の学生が外国の大学又はそれに相当する教育機関への留学を申し出た場合、教育上有益であると認めるときは許可することがある。

2 留学に関して必要な事項は別に定める。

第21条 本大学の学生で、他の大学に転学しようとする者は、詳細な事由書を添え、保証人連署をもって願い出て、学長の許可を受けなければならない。

第21条の2 本大学の学生で転科を希望する者については、選考のうえ教授会の議を経て許可することがある。

2 転科に関して必要な事項は別に定める。

第22条 保証人は、学生の身上にかかわる一切の責務を履行し得る家計をたてている者で、保護者もしくは本大学において適当と認められた者でなければならない。

- 2 保証人が死亡その他の事由によりその責任を果すことができないとき、又は本大学において不適当と認めるときは、学生は新たに保証人を定め、直ちに誓約書を提出しなければならない。

第7章 学 費

第23条 本大学における学費については、別にこれを定める。その金額は別表Ⅱのとおりとする。

第24条 授業料及びその他の諸納付金は、所定の期間内に納入しなければならない。

- 2 学費納入に関する規程は、別にこれを定める。

第25条 納付済の学費は如何なる理由があっても還付しない。

第26条 学期の中途において休学・復学・退学又は転学する者は、その期の授業料を納入しなければならない。休学及び卒業延期者の学費は別表Ⅱのとおりとする。

第8章 職 員 組 織

第27条 本大学の職員組織は、教育職員、事務職員及び技術職員とする。

- 2 本大学に教育職員として、学長、教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。
3 学長は、校務を掌り全職員を統督する。
4 本大学の職制については、別に定める

第9章 教 授 会

第28条 本大学に、重要な事項を審議するため、教授会を置く。

- 2 教授会は、本学部に所属する全専任教員（教授、准教授、講師、助教）をもって組織する。ただし、助手は必要に応じて教授会の承認を得て参加させることができる。
3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了。
(2) 学位の授与。
(3) 前2号に掲げるもののほか、教育に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
4 教授会は、第3項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会がおかれる組織の長(以下この項において「学長等」という。)がつかさどる教育に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。

第10章 定 員

第29条 本大学の定員は次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)	15人 (上記中10人)	60人 (上記中40人)
演奏学科	35 人	140 人
計	50 人	200 人

第11章 科目等履修生及び外国人学生

第30条 本大学の学生以外の者で、1又は複数の授業科目を履修しようとする者があるときは、授業上差支えがない場合に限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 前項の科目等履修生に対し、第6条を準用し、単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関する規程は、別にこれを定める。

4 科目等履修料は、別表Ⅲのとおりとする。

第31条 外国人であって本大学を志願する者があるときは、選考の上、これを許可することができる。

2 外国人学生に関しては、法令その他特別の規程のない限り、本大学の諸規程を準用する。

第12章 公開講座

第32条 本大学は、適時公開講座を設け、一般及び教職にある者のための研学に資する。

第13章 学年・学期及び休業日

第33条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第34条 学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日から9月20日まで

後期 9月21日から翌年3月31日まで

第35条 学年中の休業日は次のとおりとする。ただし、第3号から第5号の休暇期間の始期及び終期は、年度により別に定める。

(1) 日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日

(2) 創立記念日（11月22日）

(3) 夏季休業

(4) 冬季休業

(5) 春季休業

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができ、また、臨時の休業日を定めることができる。

第14章 附属図書館

第36条 本大学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規程は、別にこれを定める。

第15章 寄宿舍

第37条 本大学に附属寄宿舍を置く。

2 附属寄宿舍に関する規程は、別にこれを定める。

第16章 賞罰

第38条 学生でよくその本分を尽し、学力優秀・品行方正で、他の学生の模範となる者があるときは、教授会の議を経て学長はこれを表彰することができる。

第39条 学生で本大学の諸規則及び命令に違背し、又は学生の本分に反する行為をした者があるときは、その軽重に従って、教授会の議を経て学長はこれを懲戒する。

2 懲戒は、戒告・停学及び退学の3種とする。

3 前項の退学は、次の各号の一つに該当する者とする。

- (1) 性行不良で改善の見込がないと認められた者。
- (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められた者。
- (3) 正当な事由なくして出席常でない者。
- (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。

- (附 則) この学則は、平成2年4月1日から実施する。
- (附 則) この学則は、平成3年4月1日から実施する。
- (附 則) この学則は、平成3年12月19日から施行する。
ただし、別表Ⅱ・別表Ⅲの改正は平成4年4月1日から適用する。
- (附 則) この改正は、平成5年1月1日から施行する。
ただし、学費（授業料、施設維持費）の改正は平成5年4月1日から適用する。
- (附 則) この学則は、平成6年4月1日から施行する。
- (附 則) この改正は、平成6年12月4日から施行する。
ただし、入学金を除く改正については平成7年4月1日から適用する。
- (附 則) この学則は平成7年12月13日から施行する。
ただし、入学金を除く改正については平成8年4月1日から適用する。
- (附 則) この学則は平成8年11月13日から施行する。
ただし、学費（授業料）の改正は平成9年4月1日から適用する。
- (附 則) この学則は平成10年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は平成10年11月27日から施行する。
ただし、学費（授業料、施設維持費等）の改正は平成11年4月1日から適用する。
- (附 則) この学則は平成12年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は平成13年4月1日から施行する。
ただし、第3条、第29条にかかわらず、在学生在が卒業するまでは、旧学科に関わる学則も効力をもつ。

学 科	平成13年度収 容定員	平成14年度収 容定員	平成15年度収 容定員
宗教音楽学科	75人	50人	25人
音楽学科	90人	60人	30人
声楽学科	75人	50人	25人
器楽学科	180人	120人	60人
計	420人	280人	140人

- (附 則) この学則は平成14年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は平成15年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は平成16年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は平成17年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は平成18年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は平成19年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は2010（平成22）年4月1日から施行する。
- (附 則) この学則は2011（平成23）年4月1日から施行する。

(附 則) この学則は2012(平成24)年4月1日から施行する。

(附 則) この学則は2013(平成25)年4月1日から施行する。

ただし、第29条に掲げる演奏学科の収容定員の学年進行については、次のとおりする。

学 科	2013(平成25) 年度収容定員	2014(平成26) 年度収容定員	2015(平成27) 年度収容定員
音楽文化学科	120人	120人	120人
演奏学科	400人	360人	320人
計	520人	480人	440人

(附 則) この学則は、第3条、第4条別表Ⅰ、第23条別表Ⅱ、第28条、第29条を改正して2015(平成27)年4月1日から施行する。

ただし、第29条に掲げる音楽文化学科・演奏学科の収容定員の学年進行については、次のとおりする。

学 科	2015(平成27) 年度収容定員	2016(平成28) 年度収容定員	2017(平成28) 年度収容定員
音楽文化学科	110人	100人	90人
演奏学科	310人	260人	250人
計	420人	360人	340人

(附 則) この学則は、第4条別表Ⅰを改正して2016(平成28)年4月1日から施行する。

(附 則) この学則は、第4条別表Ⅰ、第16条第1項大6号、第7号を改正し、2018(平成30)年4月1日から施行する。

(附 則) この学則は、第4条別表Ⅰを改正し、2019(平成31)年4月1日から施行する。

(附 則) この学則は、第4条別表Ⅰ、第29条を改正して2020(令和2)年4月1日から施行する。

ただし、第29条に掲げる音楽文化学科・演奏学科の収容定員の学年進行については、次のとおりする。

学 科	2020(令和2) 年度収容定員	2021(令和3) 年度収容定員	2022(令和4) 年度収容定員
音楽文化学科	80人	80人	80人
演奏学科	230人	220人	210人
計	310人	300人	290人

(附 則) この学則は、第4条別表Ⅰを改正して2022(令和4)年4月1日から施行する。

(附 則) この学則は、第29条を改正して2024(令和6)年4月1日から施行する。

ただし、第29条に掲げる音楽文化学科・演奏学科の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学 科	2024(令和6) 年度収容定員	2025(令和7) 年度収容定員	2026(令和8) 年度収容定員
音楽文化学科	75人	70人	65人
演奏学科	185人	170人	155人
計	260人	240人	220人

<別表 I >

(2022 年度入学生より適用)

科目分類		卒業要件単位内訳	合計
教養科目	全学共通必修/選択	必修 26/選択 6	32
専門科目	A 専門必修	下記、卒業要件参照	92
	B 専門選択必修		
	C 専門共通必修		
	D 全学共通選択 *1		
教職に関する科目	教職課程履修者 必修	卒業要件 124 単位以外に最低 25 単位必修	

【卒業要件】

学科	専修/専攻	履修プログラム		教養科目		専門科目				合計
				必修	選択	A	C	B	D	
						専門必修	専門共通必修	専門選択必修	全学共通選択	
音楽文化	音楽文化	創作	作曲	26	6				21 単位以上選択	
			デジタル鍵盤楽器							
	研究/総合		36	35						
	幼児音楽教育							B から 10 単位必修	B と D から 29 単位以上選択	
								B から 4 単位必修	B と D から 5 単位以上選択	
演奏	声楽							B から必修 演奏 4 単位 指導 6 単位	B と D から選択 演奏 19 単位 指導 17 単位 総合 23 単位 選択	124
	鍵盤楽器	ピアノ						B から必修 演奏 3 単位 指導 4 単位	B と D から選択 演奏 21 単位 指導 20 単位 総合 24 単位 選択	
		パイプオルガン チェンバロ						B から必修 演奏 2 単位 指導 4 単位	B と D から 演奏 16 単位 指導 14 単位 総合 18 単位 選択	
	管弦打楽器							B から必修 演奏 13 単位 指導 16 単位 総合 12 単位	B と D から 演奏 18 単位 指導 15 単位 総合 19 単位 選択	

音楽文化学科教養科目

授業科目名	単位数
初年次演習Ⅰ	2
初年次演習Ⅱ	2
人間学Ⅰ	2
人間学Ⅱ	2
人間学Ⅲ	2
人間学Ⅳ	2
サービスラーニング	2
暮らしと健康Ⅰ	2
暮らしと健康Ⅱ	2
小児保健	2
情報機器演習	2
日本国憲法	2
キャリア教育Ⅰ	2
キャリア教育Ⅱ	2
キャリア教育Ⅲ	2
日本語表現	2
英語Ⅰ	1
英語Ⅱ	1
英語Ⅲ	1
英語Ⅳ	1
英語Ⅴ-1	1
英語Ⅴ-2	1
英語会話Ⅰ	1
英語会話Ⅱ	1
英語会話Ⅲ	1
英語会話Ⅳ	1
英語会話Ⅴ-1	1
英語会話Ⅴ-2	1
フランス語Ⅰ	1
フランス語Ⅱ	1
フランス語Ⅲ	1
フランス語Ⅳ	1
フランス語Ⅴ-1	1
フランス語Ⅴ-2	1
フランス語Ⅵ-1	1
フランス語Ⅵ-2	1
ドイツ語Ⅰ	1
ドイツ語Ⅱ	1
ドイツ語Ⅲ	1
ドイツ語Ⅳ	1
ドイツ語Ⅴ-1	1
ドイツ語Ⅴ-2	1
ドイツ語Ⅵ-1	1
ドイツ語Ⅵ-2	1
イタリア語Ⅰ	1
イタリア語Ⅱ	1
イタリア語Ⅲ	1
イタリア語Ⅳ	1
イタリア語Ⅴ-1	1
イタリア語Ⅴ-2	1
イタリア語Ⅵ-1	1
イタリア語Ⅵ-2	1
ラテン語Ⅰ	1
ラテン語Ⅱ	1
特別・講義演習	
単位互換科目	
体育Ⅰ	2
体育Ⅱ	2

音楽文化学科音楽文化専修

【創作プログラム(作曲)】

専門科目

	授業科目名	単位数	
専門必修	作曲Ⅰ	3	
	作曲Ⅱ	3	
	作曲Ⅲ	3	
	作曲Ⅳ	3	
	作曲Ⅴ	3	
	作曲Ⅵ	3	
	作曲Ⅶ	3	
	作曲Ⅷ	3	
	卒業作品	2	
	専門選択	DTMⅠ	2
上級和声と近代和声		2	
学内演奏		2	
ミュージカル創作上演Ⅰ		2	
ミュージカル創作上演Ⅱ		2	
音楽教育研究Ⅰ		2	
音楽教育研究Ⅱ		2	
音楽教育研究Ⅲ		2	
音楽教育研究Ⅳ		2	
音楽教育研究Ⅴ		3	
音楽教育研究Ⅵ		2	
音楽教育研究Ⅶ		2	
音楽教育研究Ⅷ		2	
音楽療法		2	
ミュージック・ライティング		2	
ポピュラー音楽		2	
コンサートマネジメント		2	
専門共通必修		音楽史Ⅰ	2
		音楽史Ⅱ	2
	音楽史Ⅲ	2	
	音楽史Ⅳ	2	
	宗教音楽Ⅰ	2	
	宗教音楽Ⅱ	2	
	宗教音楽Ⅲ	2	
	音楽理論Ⅰ	1	
	音楽理論Ⅱ	1	
	ソルフェージュⅠ	1	
	ソルフェージュⅡ	1	
	音楽家の耳トレーニングⅠ	1	
	音楽家の耳トレーニングⅡ	1	
	和声学Ⅰ	1	
	和声学Ⅱ	1	
	女声合唱	1	
	混声合唱	1	
	副科ピアノⅠ	1	
	副科ピアノⅡ	1	
副科ピアノⅢ	1		
副科ピアノⅣ	1		
第九合唱Ⅰ	1		

音楽文化学科音楽文化専修
【創作プログラム(デジタル鍵盤楽器)】
専門科目

音楽文化学科音楽文化専修
【研究プログラム】 【総合プログラム】
専門科目

	授業科目名	単位数	
専門必修	デジタル鍵盤楽器Ⅰ	3	
	デジタル鍵盤楽器Ⅱ	3	
	デジタル鍵盤楽器Ⅲ	3	
	デジタル鍵盤楽器Ⅳ	3	
	デジタル鍵盤楽器Ⅴ	3	
	デジタル鍵盤楽器Ⅵ	3	
	デジタル鍵盤楽器Ⅶ	3	
	デジタル鍵盤楽器Ⅷ	3	
	レジストレーション研究	2	
	和声学Ⅲ	2	
	和声学Ⅳ	2	
	管弦楽法	2	
	DTMⅡ	2	
	卒業演奏	2	
専門選択	DTMⅠ	2	
	上級和声と近代和声	2	
	学内演奏	2	
	ミュージカル創作上演Ⅰ	2	
	ミュージカル創作上演Ⅱ	2	
	音楽教育研究Ⅰ	2	
	音楽教育研究Ⅱ	2	
	音楽教育研究Ⅲ	2	
	音楽教育研究Ⅳ	2	
	音楽教育研究Ⅴ	3	
	音楽教育研究Ⅵ	2	
	音楽教育研究Ⅶ	2	
	音楽教育研究Ⅷ	2	
	音楽療法	2	
	ミュージック・ライティング	2	
	ポピュラー音楽	2	
	コンサートマネジメント	2	
	専門共通必修	音楽史Ⅰ	2
		音楽史Ⅱ	2
		音楽史Ⅲ	2
音楽史Ⅳ		2	
宗教音楽Ⅰ		2	
宗教音楽Ⅱ		2	
宗教音楽Ⅲ		2	
音楽理論Ⅰ		1	
音楽理論Ⅱ		1	
ソルフェージュⅠ		1	
ソルフェージュⅡ		1	
音楽家の耳トレーニングⅠ		1	
音楽家の耳トレーニングⅡ		1	
和声学Ⅰ		1	
和声学Ⅱ		1	
女声合唱		1	
混声合唱		1	
副科ピアノⅠ		1	
副科ピアノⅡ		1	
副科ピアノⅢ		1	
副科ピアノⅣ		1	
第九合唱Ⅰ		1	

	授業科目名	単位数	
専門必修	音楽リサーチⅠ	2	
	音楽リサーチⅡ	2	
	音楽文化基礎演習Ⅰ	2	
	音楽文化基礎演習Ⅱ	2	
	音楽文化研究演習Ⅰ	2	
	音楽文化研究演習Ⅱ	2	
	音楽文化卒業演習Ⅰ	2	
	音楽文化卒業演習Ⅱ	2	
	卒業研究・制作	2	
	専門選択必修	音楽研究概論	2
		音楽教育概論	2
		音楽総合概論	2
		作曲基礎Ⅰ	1
		作曲基礎Ⅱ	1
音楽教育研究Ⅰ		2	
音楽教育研究Ⅱ		2	
音楽教育研究Ⅲ		2	
音楽教育研究Ⅳ		2	
音楽教育研究Ⅴ		2	
音楽教育研究Ⅵ		2	
音楽教育研究Ⅶ		2	
音楽教育研究Ⅷ		2	
応用音楽研究Ⅰ		2	
応用音楽研究Ⅱ		2	
応用音楽研究Ⅲ		2	
音楽療法		2	
ミュージック・ライティング		2	
ポピュラー音楽		2	
コンサートマネジメント		2	
DTMⅠ		2	
DTMⅡ		2	
上級和声と近代和声		2	
ミュージカル創作上演Ⅰ		2	
ミュージカル創作上演Ⅱ		2	
専門共通必修		音楽史Ⅰ	2
		音楽史Ⅱ	2
		音楽史Ⅲ	2
		音楽史Ⅳ	2
		宗教音楽Ⅰ	2
	宗教音楽Ⅱ	2	
	宗教音楽Ⅲ	2	
	音楽理論Ⅰ	1	
	音楽理論Ⅱ	1	
	ソルフェージュⅠ	1	
	ソルフェージュⅡ	1	
	音楽家の耳トレーニングⅠ	1	
	音楽家の耳トレーニングⅡ	1	
	和声学Ⅰ	1	
	和声学Ⅱ	1	
	女声合唱	1	
	混声合唱	1	
	副科ピアノⅠ	1	
	副科ピアノⅡ	1	
	副科ピアノⅢ	1	
	副科ピアノⅣ	1	
	第九合唱Ⅰ	1	

音楽文化学科音楽文化専修

全学共通選択	幼児音楽教育学Ⅰ	2
	幼児音楽教育学Ⅱ	2
	保育史	2
	育児支援と指導法	2
	モンテッソーリ指導法Ⅰ	2
	モンテッソーリ指導法Ⅱ	2
	音楽と身体表現	2
	幼児理解と保育相談	2
	合唱指導法	2
	ドイツ歌曲研究	2
	日本歌曲研究	2
	フランス歌曲研究	2
	オペラ実習	2
	第九合唱Ⅱ	1
	オペラ研究Ⅰ	2
	オペラ研究Ⅱ	2
	ピアノ構造学	2
	ピアノ作品研究	2
	ピアノ指導法基礎	2
	ピアノ指導法実践	2
	指導グレード研究	2
	演奏科学	1
	通奏低音基礎	2
	吹奏楽指導法Ⅰ	2
	吹奏楽指導法Ⅱ	2
	マーチング指導法Ⅰ	2
	マーチング指導法Ⅱ	2
	室内楽A	2
	室内楽B	2
	オーケストラ	1
	吹奏楽	1
	音楽家の耳トレーニングⅢ	1
	音楽家の耳トレーニングⅣ	1
	対位法	2
	楽曲分析Ⅰ	2
	楽曲分析Ⅱ	2
	スコア・リーディング	2
	即興演習Ⅰ	1
	即興演習Ⅱ-1	1
	即興演習Ⅱ-2	1
	合唱指揮法	2
	吹奏楽指揮法	2
	副科作曲Ⅰ	1
	副科作曲Ⅱ	1
	副科作曲Ⅲ	1
	副科作曲Ⅳ	1
	副科作曲Ⅴ	1
	副科作曲Ⅵ	1
	副科作曲Ⅶ	1
	副科作曲Ⅷ	1
	副科声楽Ⅰ	1
	副科声楽Ⅱ	1
	副科声楽Ⅲ	1
	副科声楽Ⅳ	1
副科声楽Ⅴ	1	
副科声楽Ⅵ	1	
副科声楽Ⅶ	1	
副科声楽Ⅷ	1	

全学共通選択	副科ピアノⅤ	1
	副科ピアノⅥ	1
	副科ピアノⅦ	1
	副科ピアノⅧ	1
	副科オルガンⅠ	1
	副科オルガンⅡ	1
	副科オルガンⅢ	1
	副科オルガンⅣ	1
	副科オルガンⅤ	1
	副科オルガンⅥ	1
	副科オルガンⅦ	1
	副科オルガンⅧ	1
	副科チェンバロⅠ	1
	副科チェンバロⅡ	1
	副科チェンバロⅢ	1
	副科チェンバロⅣ	1
	副科チェンバロⅤ	1
	副科チェンバロⅥ	1
	副科チェンバロⅦ	1
	副科チェンバロⅧ	1
	副科管弦打楽器Ⅰ	1
	副科管弦打楽器Ⅱ	1
	副科管弦打楽器Ⅲ	1
	副科管弦打楽器Ⅳ	1
	副科管弦打楽器Ⅴ	1
	副科管弦打楽器Ⅵ	1
	副科管弦打楽器Ⅶ	1
	副科管弦打楽器Ⅷ	1
	副科弦楽Ⅰ	1
	副科弦楽Ⅱ	1
	副科弦楽Ⅲ	1
	副科弦楽Ⅳ	1
	伝統・民俗音楽研究Ⅰ	2
	伝統・民俗音楽研究Ⅱ	2
	伝統・民俗音楽研究Ⅲ	2
	伝統・民俗音楽研究Ⅳ	2
	伝統・民俗音楽研究Ⅴ	2
伝統・民俗音楽研究Ⅵ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅶ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅷ	2	
和太鼓アンサンブル	1	
特別支援教育概論	1	
教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	2	
生徒・進路指導論	2	
声楽(音文教職)	1	
器楽(音文教職)	1	
作曲(音文教職)	2	
音楽科教育法Ⅰ	2	
特別・講義演習		
単位互換科目		

音楽文化学科幼児音楽教育専修
専門科目

	授業科目名	単位数
専門必修	幼児音楽教育学Ⅰ	2
	幼児音楽教育学Ⅱ	2
	幼児音楽教育特殊研究Ⅰ	2
	幼児音楽教育特殊研究Ⅱ	2
	幼児教育原理	2
	保育史	2
	発達心理学	2
	幼児教育課程論	2
	幼児と健康	1
	幼児と人間関係	1
	幼児と環境	1
	幼児と言葉	1
	幼児と造形表現	2
	幼児と音楽表現	2
	保育内容の指導法(健康)	2
	保育内容の指導法(人間関係)	2
	保育内容の指導法(環境)	2
	保育内容の指導法(言葉)	2
	保育内容の指導法(表現)	2
	幼児教育の方法と技術	2
	モンテッソーリ指導法Ⅰ	2
	モンテッソーリ指導法Ⅱ	2
	幼児教育方法論	2
	幼児理解と保育相談	2
	幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅰ	1
	幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅱ	1
	幼児音楽教育卒業演習Ⅰ	2
	幼児音楽教育卒業演習Ⅱ	2
専門選択必修	乳児保育	2
	モンテッソーリ指導法Ⅲ	2
	モンテッソーリ指導法Ⅳ	2
	幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅲ	1
	幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅳ	1
	音楽と身体表現	2
	幼児音楽教育研究演習Ⅰ	2
幼児音楽教育研究演習Ⅱ	2	
学内発表	2	
卒業研究	2	
専門共通必修	音楽史Ⅰ	2
	音楽史Ⅱ	2
	音楽史Ⅲ	2
	音楽史Ⅳ	2
	宗教音楽Ⅰ	2
	宗教音楽Ⅱ	2
	宗教音楽Ⅲ	2
	音楽理論Ⅰ	1
	音楽理論Ⅱ	1
	ソルフェージュⅠ	1
	ソルフェージュⅡ	1
	音楽家の耳トレーニングⅠ	1
	音楽家の耳トレーニングⅡ	1
	女声合唱	1
	混声合唱	1
	副科ピアノⅠ	1
	副科ピアノⅡ	1
	第九合唱Ⅰ	1

全学共通選択	DTMI	2
	DTMⅡ	2
	上級和声と近代和声	2
	ミュージカル創作上演Ⅰ	2
	ミュージカル創作上演Ⅱ	2
	音楽教育研究Ⅰ	2
	音楽教育研究Ⅱ	2
	音楽教育研究Ⅲ	2
	西洋音楽研究Ⅱ	2
	宗教音楽研究Ⅰ	3
	応用音楽研究Ⅰ	2
	応用音楽研究Ⅱ	2
	応用音楽研究Ⅲ	2
	音楽療法	2
	ミュージック・ライティング	2
	ポピュラー音楽	2
	コンサートマネジメント	2
	合唱指導法	2
	ドイツ歌曲研究	2
	日本歌曲研究	2
	フランス歌曲研究	2
	オペラ実習	2
	第九合唱Ⅱ	1
	オペラ研究Ⅰ	2
	オペラ研究Ⅱ	2
	ピアノ構造学	2
	ピアノ作品研究	2
	ピアノ指導法基礎	2
	ピアノ指導法実践	2
	指導グレード研究	2
	演奏科学	1
	通奏低音基礎	2
	吹奏楽指導法Ⅰ	2
	吹奏楽指導法Ⅱ	2
	マーチング指導法Ⅰ	2
	マーチング指導法Ⅱ	2
	室内楽A	2
	室内楽B	2
	オーケストラ	1
	吹奏楽	1
	音楽家の耳トレーニングⅠ	1
音楽家の耳トレーニングⅡ	1	
音楽家の耳トレーニングⅢ	1	
音楽家の耳トレーニングⅣ	1	
和声学Ⅰ	1	
和声学Ⅱ	1	
対位法	2	
楽曲分析Ⅰ	2	
楽曲分析Ⅱ	2	
スコア・リーディング	2	
即興演習Ⅰ	1	
即興演習Ⅱ-1	1	
即興演習Ⅱ-2	1	
合唱指揮法	2	
吹奏楽指揮法	2	
副科作曲Ⅰ	1	
副科作曲Ⅱ	1	
副科作曲Ⅲ	1	
副科作曲Ⅳ	1	
副科作曲Ⅴ	1	
副科作曲Ⅵ	1	

全学共通選択	副科作曲Ⅶ	1
	副科作曲Ⅷ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅰ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅱ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅲ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅳ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅴ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅵ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅶ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅷ	1
	副科声楽Ⅰ	1
	副科声楽Ⅱ	1
	副科声楽Ⅲ	1
	副科声楽Ⅳ	1
	副科声楽Ⅴ	1
	副科声楽Ⅵ	1
	副科声楽Ⅶ	1
	副科声楽Ⅷ	1
	副科ピアノⅢ	1
	副科ピアノⅣ	1
	副科ピアノⅤ	1
	副科ピアノⅥ	1
	副科ピアノⅦ	1
	副科ピアノⅧ	1
	副科オルガンⅠ	1
	副科オルガンⅡ	1
	副科オルガンⅢ	1
	副科オルガンⅣ	1
	副科オルガンⅤ	1
	副科オルガンⅥ	1
	副科オルガンⅦ	1
	副科オルガンⅧ	1
	副科チェンバロⅠ	1
	副科チェンバロⅡ	1
	副科チェンバロⅢ	1
	副科チェンバロⅣ	1
	副科チェンバロⅤ	1
	副科チェンバロⅥ	1
	副科チェンバロⅦ	1
	副科チェンバロⅧ	1
	副科管弦打楽器Ⅰ	1
	副科管弦打楽器Ⅱ	1
	副科管弦打楽器Ⅲ	1
	副科管弦打楽器Ⅳ	1
	副科管弦打楽器Ⅴ	1
	副科管弦打楽器Ⅵ	1
	副科管弦打楽器Ⅶ	1
副科管弦打楽器Ⅷ	1	
副科弦楽Ⅰ	1	
副科弦楽Ⅱ	1	
副科弦楽Ⅲ	1	
副科弦楽Ⅳ	1	
伝統・民俗音楽研究Ⅰ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅱ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅲ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅳ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅴ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅵ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅶ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅷ	2	
和太鼓アンサンブル	1	

全学共通選択	副科実技A(デジタル鍵盤楽器)Ⅰ	1
	副科実技A(デジタル鍵盤楽器)Ⅱ	1
	副科実技A(デジタル鍵盤楽器)Ⅲ	1
	副科実技A(デジタル鍵盤楽器)Ⅳ	1
	副科実技A(デジタル鍵盤楽器)Ⅴ	1
	副科実技A(デジタル鍵盤楽器)Ⅵ	1
	副科実技A(声楽)Ⅰ	1
	副科実技A(声楽)Ⅱ	1
	副科実技A(声楽)Ⅲ	1
	副科実技A(声楽)Ⅳ	1
	副科実技A(声楽)Ⅴ	1
	副科実技A(声楽)Ⅵ	1
	副科実技A(ピアノ)Ⅰ	1
	副科実技A(ピアノ)Ⅱ	1
	副科実技A(ピアノ)Ⅲ	1
	副科実技A(ピアノ)Ⅳ	1
	副科実技A(ピアノ)Ⅴ	1
	副科実技A(ピアノ)Ⅵ	1
	副科実技A(オルガン)Ⅰ	1
	副科実技A(オルガン)Ⅱ	1
	副科実技A(オルガン)Ⅲ	1
	副科実技A(オルガン)Ⅳ	1
	副科実技A(オルガン)Ⅴ	1
	副科実技A(オルガン)Ⅵ	1
	副科実技A(チェンバロ)Ⅰ	1
	副科実技A(チェンバロ)Ⅱ	1
	副科実技A(チェンバロ)Ⅲ	1
	副科実技A(チェンバロ)Ⅳ	1
	副科実技A(チェンバロ)Ⅴ	1
	副科実技A(チェンバロ)Ⅵ	1
	副科実技A(管弦打楽器)Ⅰ	1
	副科実技A(管弦打楽器)Ⅱ	1
	副科実技A(管弦打楽器)Ⅲ	1
副科実技A(管弦打楽器)Ⅳ	1	
副科実技A(管弦打楽器)Ⅴ	1	
副科実技A(管弦打楽器)Ⅵ	1	
特別支援教育概論	1	
教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	2	
生徒・進路指導論	2	
声楽(音文教職)	1	
器楽(音文教職)	1	
作曲(音文教職)	2	
音楽科教育法Ⅰ	2	
特別・講義演習		
単位互換科目		

演奏学科教養科目

授業科目名	単位数
初年次演習Ⅰ	2
初年次演習Ⅱ	2
人間学Ⅰ	2
人間学Ⅱ	2
人間学Ⅲ	2
人間学Ⅳ	2
サービスマナーニング	2
暮らしと健康Ⅰ	2
暮らしと健康Ⅱ	2
小児保健	2
情報機器演習	2
日本国憲法	2
キャリア教育Ⅰ	2
キャリア教育Ⅱ	2
キャリア教育Ⅲ	2
日本語表現	2
英語Ⅰ	1
英語Ⅱ	1
英語Ⅲ	1
英語Ⅳ	1
英語Ⅴ-1	1
英語Ⅴ-2	1
英語会話Ⅰ	1
英語会話Ⅱ	1
英語会話Ⅲ	1
英語会話Ⅳ	1
英語会話Ⅴ-1	1
英語会話Ⅴ-2	1
フランス語Ⅰ	1
フランス語Ⅱ	1
フランス語Ⅲ	1
フランス語Ⅳ	1
フランス語Ⅴ-1	1
フランス語Ⅴ-2	1
フランス語Ⅵ-1	1
フランス語Ⅵ-2	1
ドイツ語Ⅰ	1
ドイツ語Ⅱ	1
ドイツ語Ⅲ	1
ドイツ語Ⅳ	1
ドイツ語Ⅴ-1	1
ドイツ語Ⅴ-2	1
ドイツ語Ⅵ-1	1
ドイツ語Ⅵ-2	1
イタリア語Ⅰ	1
イタリア語Ⅱ	1
イタリア語Ⅲ	1
イタリア語Ⅳ	1
イタリア語Ⅴ-1	1
イタリア語Ⅴ-2	1
イタリア語Ⅵ-1	1
イタリア語Ⅵ-2	1
ラテン語Ⅰ	1
ラテン語Ⅱ	1
特別・講義演習	
単位互換科目	
体育Ⅰ	2
体育Ⅱ	2

演奏学科声楽専攻
専門科目

授業科目名	単位数
専攻実技(声楽)Ⅰ	3
専攻実技(声楽)Ⅱ	3
専攻実技(声楽)Ⅲ	3
専攻実技(声楽)Ⅳ	3
専攻実技(声楽)Ⅴ	3
専攻実技(声楽)Ⅵ	3
専攻実技(声楽)Ⅶ	3
専攻実技(声楽)Ⅷ	3
声楽基礎技法Ⅰ	2
声楽基礎技法Ⅱ	2
声楽基礎技法Ⅲ	2
声楽基礎技法Ⅳ	2
学内演奏(声楽)	2
声楽特別レッスン	1
オペラ実習	2
第九合唱Ⅱ	1
合唱指導法	2
ドイツ歌曲研究	2
日本歌曲研究	2
フランス歌曲研究	2
オペラ研究Ⅰ	2
オペラ研究Ⅱ	2
即興演習Ⅰ	1
副科ピアノⅤ	1
副科ピアノⅥ	1
副科ピアノⅦ	1
副科ピアノⅧ	1
室内楽B	2
ミュージック・ライティング	2
音楽史Ⅰ	2
音楽史Ⅱ	2
音楽史Ⅲ	2
音楽史Ⅳ	2
宗教音楽Ⅰ	2
宗教音楽Ⅱ	2
宗教音楽Ⅲ	2
音楽理論Ⅰ	1
音楽理論Ⅱ	1
ソルフェージュⅠ	1
ソルフェージュⅡ	1
音楽家の耳トレーニングⅠ	1
音楽家の耳トレーニングⅡ	1
和声学Ⅰ	1
和声学Ⅱ	1
混声合唱研究	1
副科ピアノⅠ	1
副科ピアノⅡ	1
副科ピアノⅢ	1
副科ピアノⅣ	1
第九合唱Ⅰ	1

演奏学科鍵盤楽器専攻【ピアノ】

専門科目

	授業科目名	単位数
専門必修	専攻実技(ピアノ)Ⅰ	3
	専攻実技(ピアノ)Ⅱ	3
	専攻実技(ピアノ)Ⅲ	3
	専攻実技(ピアノ)Ⅳ	3
	専攻実技(ピアノ)Ⅴ	3
	専攻実技(ピアノ)Ⅵ	3
	専攻実技(ピアノ)Ⅶ	3
	専攻実技(ピアノ)Ⅷ	3
	演奏科学	1
	ピアノ構造学	2
専門選択必修	ピアノ作品研究	2
	ピアノ指導法基礎	2
	ピアノ伴奏法	2
	学内演奏(ピアノ)	2
	楽曲分析Ⅰ	2
	ピアノ特別レッスン	1
	ピアノ指導法実践	2
	ピアノ重奏	2
	指導グレード研究	2
	音楽と身体表現	2
室内楽B	2	
専門共通必修	音楽史Ⅰ	2
	音楽史Ⅱ	2
	音楽史Ⅲ	2
	音楽史Ⅳ	2
	宗教音楽Ⅰ	2
	宗教音楽Ⅱ	2
	宗教音楽Ⅲ	2
	音楽理論Ⅰ	1
	音楽理論Ⅱ	1
	ソルフェージュⅠ	1
	ソルフェージュⅡ	1
	音楽家の耳トレーニングⅠ	1
	音楽家の耳トレーニングⅡ	1
	和声学Ⅰ	1
	和声学Ⅱ	1
	女声合唱研究	1
	混声合唱研究	1
	第九合唱Ⅰ	1

演奏学科鍵盤楽器専攻

【パイプオルガン/チェンバロ】

専門科目

	授業科目名	単位数
専門必修	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅰ	3
	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅱ	3
	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅲ	3
	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅳ	3
	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅴ	3
	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅵ	3
	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅶ	3
	専攻実技(オルガン/チェンバロ)Ⅷ	3
	オルガン/チェンバロ構造学	2
	通奏低音基礎	2
専門選択必修	通奏低音応用	2
	即興演奏Ⅰ	1
	即興演奏Ⅱ	1
	演奏様式研究Ⅰ	2
	演奏様式研究Ⅱ	2
	学内演奏(オルガン/チェンバロ)	2
	演奏科学	1
	即興演奏Ⅲ	1
	即興演奏Ⅳ	1
	合唱指導法	2
ピアノ指導法基礎	2	
専門共通必修	音楽史Ⅰ	2
	音楽史Ⅱ	2
	音楽史Ⅲ	2
	音楽史Ⅳ	2
	宗教音楽Ⅰ	2
	宗教音楽Ⅱ	2
	宗教音楽Ⅲ	2
	音楽理論Ⅰ	1
	音楽理論Ⅱ	1
	ソルフェージュⅠ	1
	ソルフェージュⅡ	1
	音楽家の耳トレーニングⅠ	1
	音楽家の耳トレーニングⅡ	1
	和声学Ⅰ	1
	和声学Ⅱ	1
	女声合唱研究	1
	混声合唱研究	1
	副科ピアノⅠ	1
副科ピアノⅡ	1	
副科ピアノⅢ	1	
副科ピアノⅣ	1	
第九合唱Ⅰ	1	

演奏学科管弦打楽器専攻
専門科目

演奏学科

	授業科目名	単位数
専門必修	専攻実技(管弦打楽器) I	3
	専攻実技(管弦打楽器) II	3
	専攻実技(管弦打楽器) III	3
	専攻実技(管弦打楽器) IV	3
	専攻実技(管弦打楽器) V	3
	専攻実技(管弦打楽器) VI	3
	専攻実技(管弦打楽器) VII	3
	専攻実技(管弦打楽器) VIII	3
	学内演奏(管弦打楽器)	3
	専門選択必修	オーケストラ
室内楽A		2
室内楽B		2
吹奏楽指導法 I		2
吹奏楽指導法 II		2
マーチング指導法 I		2
マーチング指導法 II		2
演奏科学		1
専門共通必修	音楽史 I	2
	音楽史 II	2
	音楽史 III	2
	音楽史 IV	2
	宗教音楽 I	2
	宗教音楽 II	2
	宗教音楽 III	2
	音楽理論 I	1
	音楽理論 II	1
	ソルフェージュ I	1
	ソルフェージュ II	1
	音楽家の耳トレーニング I	1
	音楽家の耳トレーニング II	1
	和声学 I	1
	和声学 II	1
	女声合唱研究	1
	混声合唱研究	1
	副科ピアノ I	1
	副科ピアノ II	1
	副科ピアノ III	1
	副科ピアノ IV	1
	第九合唱 I	1

	授業科目名	単位数
全学共通選択	DTMI	2
	DTM II	2
	上級和声と近代和声	2
	ミュージカル創作上演 I	2
	ミュージカル創作上演 II	2
	音楽教育研究 I	2
	音楽教育研究 II	2
	音楽教育研究 III	2
	西洋音楽研究 II	2
	宗教音楽研究 I	3
	応用音楽研究 I	2
	応用音楽研究 II	2
	応用音楽研究 III	2
	音楽療法	2
	ミュージック・ライティング	2
	ポピュラー音楽	2
	コンサートマネジメント	2
	幼児音楽教育学 I	2
	幼児音楽教育学 II	2
	保育史	2
	育児支援と指導法	2
	モンテッソーリ指導法 I	2
	モンテッソーリ指導法 II	2
	音楽と身体表現	2
	幼児理解と保育相談	2
	合唱指導法	2
	ドイツ歌曲研究	2
	日本歌曲研究	2
	フランス歌曲研究	2
	オペラ実習	2
	第九合唱 II	1
	オペラ研究 I	2
	オペラ研究 II	2
	ピアノ構造学	2
	ピアノ作品研究	2
	ピアノ指導法基礎	2
	ピアノ指導法実践	2
	指導グレード研究	2
	演奏科学	1
	通奏低音基礎	2
	吹奏楽指導法 I	2
	吹奏楽指導法 II	2
	マーチング指導法 I	2
	マーチング指導法 II	2
	室内楽A	2
	オーケストラ	1
	吹奏楽	1
音楽家の耳トレーニング III	1	
音楽家の耳トレーニング IV	1	
対位法	2	
楽曲分析 I	2	
楽曲分析 II	2	
スコア・リーディング	2	
即興演習 I	1	
即興演習 II-1	1	
即興演習 II-2	1	
合唱指揮法研究	2	
吹奏楽指揮法研究	2	
副科作曲 I	1	
副科作曲 II	1	
副科作曲 III	1	
副科作曲 IV	1	

全学 共通 選択	副科作曲Ⅴ	1
	副科作曲Ⅵ	1
	副科作曲Ⅶ	1
	副科作曲Ⅷ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅰ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅱ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅲ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅳ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅴ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅵ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅶ	1
	副科デジタル鍵盤楽器Ⅷ	1
	副科声楽Ⅰ	1
	副科声楽Ⅱ	1
	副科声楽Ⅲ	1
	副科声楽Ⅳ	1
	副科声楽Ⅴ	1
	副科声楽Ⅵ	1
	副科声楽Ⅶ	1
	副科声楽Ⅷ	1
	副科ピアノⅤ	1
	副科ピアノⅥ	1
	副科ピアノⅦ	1
	副科ピアノⅧ	1
	副科オルガンⅠ	1
	副科オルガンⅡ	1
	副科オルガンⅢ	1
	副科オルガンⅣ	1
	副科オルガンⅤ	1
	副科オルガンⅥ	1
	副科オルガンⅦ	1
	副科オルガンⅧ	1
	副科チェンバロⅠ	1
	副科チェンバロⅡ	1
	副科チェンバロⅢ	1
	副科チェンバロⅣ	1
	副科チェンバロⅤ	1
	副科チェンバロⅥ	1
	副科チェンバロⅦ	1
	副科チェンバロⅧ	1
	副科管弦打楽器Ⅰ	1
	副科管弦打楽器Ⅱ	1
	副科管弦打楽器Ⅲ	1
	副科管弦打楽器Ⅳ	1
	副科管弦打楽器Ⅴ	1
	副科管弦打楽器Ⅵ	1
	副科管弦打楽器Ⅶ	1
副科管弦打楽器Ⅷ	1	
副科弦楽Ⅰ	1	
副科弦楽Ⅱ	1	
副科弦楽Ⅲ	1	
副科弦楽Ⅳ	1	
伝統・民俗音楽研究Ⅰ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅱ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅲ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅳ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅴ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅵ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅶ	2	
伝統・民俗音楽研究Ⅷ	2	
和太鼓アンサンブル	1	
特別支援教育概論	1	
教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	2	

全学 共通 選択	生徒・進路指導論	2
	声楽（音文教職）	1
	器楽（音文教職）	1
	作曲（音文教職）	2
	音楽科教育法Ⅰ	2
	特別・講義演習	
単位互換科目		

音楽文化学科幼児音楽教育専修
教員免許状取得に関する科目

保育内容の指導法に関する科目
(幼稚園教諭一種免許)

授業科目名	単位数
保育内容の指導法(健康)	2
保育内容の指導法(人間関係)	2
保育内容の指導法(環境)	2
保育内容の指導法(言葉)	2
保育内容の指導法(表現)	2
モンテッソーリ指導法Ⅰ	2
モンテッソーリ指導法Ⅱ	2

教育の基礎的理解に関する科目等
(幼稚園教諭一種免許)

授業科目名	単位数
教師論	2
幼児教育原理	2
保育史	2
教育史	2
発達心理学	2
教育心理学	2
特別支援教育概論	1
幼児教育課程論	2
幼児教育方法論	2
育児支援と指導法	2
幼児教育の方法と技術	2
幼児理解と保育相談	2
教育実習事前事後指導(幼)	1
幼稚園教育実習Ⅰ(幼)	2
幼稚園教育実習Ⅱ(幼)	2
教職実践演習(幼)	2

音楽文化学科音楽文化専修・演奏学科
教員免許状取得に関する科目

教育の基礎的理解に関する科目等
(中学校・高等学校教諭一種免許)

授業科目名	単位数
教師論	2
教育原理	2
教育史	2
教育心理学	2
発達心理学	2
特別支援教育概論	1
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
総合的な学習の時間の指導法	1
特別活動の指導法	1
教育方法論	2
生徒・進路指導論	2
教育相談	2
教育実習事前事後指導(中・高)	1
教育実習Ⅰ(中・高)	2
教育実習Ⅱ(中・高)	2
教職実践演習(中・高)	2

教科及び教科の指導法に関する科目
(中学校・高等学校教諭一種免許)

授業科目名	単位数
声楽(教職)	1
器楽(教職)	1
作曲(教職)	2
音楽科教育法Ⅰ	2
音楽科教育法Ⅱ	2
音楽科教育法Ⅲ	2
音楽科教育法Ⅳ	2

(2021年度以前の入学生適用)

音楽文化学科 音楽文化専修

【卒業要件】(1)から(5)で合計124単位以上

音楽創作領域(<作曲>/<デジタル鍵盤楽器>)

- (1) 教養学科目 32単位以上
- (2) 音楽文化学科関連学科目 34単位以上
- (3) 音楽文化学科主要学科目 48単位以上
- (4) 全学共通特殊講義 2単位以上
- (5) 関連学科目、全学共通特殊講義又は両学科の主要学科目 8単位以上

音楽研究領域・音楽教育領域

- (1) 教養学科目 32単位以上
- (2) 音楽文化学科関連学科目 34単位以上
- (3) 音楽文化学科主要学科目 38単位以上
- (4) 全学共通特殊講義 4単位以上
- (5) 関連学科目、全学共通特殊講義又は両学科の主要学科目 16単位以上

音楽コミュニケーションデザイン領域

- (1) 教養学科目 32単位以上
- (2) 音楽文化学科関連学科目 34単位以上
- (3) 音楽文化学科主要学科目 32単位以上
- (4) 全学共通特殊講義 8単位以上
- (5) 関連学科目、全学共通特殊講義又は両学科の主要学科目 18単位以上

音楽文化学科 幼児音楽教育専修

【卒業要件】(1)から(6)で合計124単位以上

- (1) 教養学科目 32単位以上
- (2) 音楽文化学科幼児音楽教育専修関連学科目 28単位以上
- (3) 音楽文化学科主要学科目 4単位以上
- (4) 全学共通特殊講義 2単位以上
- (5) 幼児音楽教育専修学科目 50単位以上
- (6) 幼児音楽教育専修学科目、全学共通特殊講義、音楽文化学科関連学科目または音楽文化学科主要学科目より 8単位以上

演奏学科

【卒業要件】(1)から(5)で合計124単位以上

- (1) 教養学科目 32単位以上
- (2) 演奏学科関連学科目 30単位以上
- (3) 演奏学科主要学科目 声楽専攻は46単位以上、鍵盤楽器専攻は42単位以上、管弦打楽器専攻は50単位以上
- (4) 全学共通特殊講義
- (5) 関連学科目、全学共通特殊講義、両学科主要学科目 2単位以上

声楽専攻は14単位以上、鍵盤楽器専攻は18単位以上、管弦打楽器選考は10単位以上(注)

注 幼児音楽教育専修の次の7科目を、8単位を上限に算入可能。

(2021年度以前の入学生に適用)

全学共通教養学科目

授業科目名	単位数
教養演習	2
人間学Ⅰ	4
人間学Ⅱ	4
人間学Ⅲ	4
人間学Ⅳ	4
人間学Ⅴ	4
暮らしと健康Ⅰ	2
暮らしと健康Ⅱ	2
暮らしと健康Ⅲ	2
暮らしと健康Ⅳ	2
日本国憲法	2
キャリア教育Ⅰ	2
キャリア教育Ⅱ	2
キャリア教育Ⅲ	2
情報機器演習	2
日本語表現Ⅰ	2
日本語表現Ⅱ	2
英語Ⅰ	1
英語Ⅱ	1
英語Ⅲ	1
英語Ⅳ	1
英語Ⅴ	1
英語Ⅵ	1
英語Ⅶ	2
英語会話Ⅰ	1
英語会話Ⅱ	1
英語会話Ⅲ	1
英語会話Ⅳ	1
フランス語Ⅰ	1
フランス語Ⅱ	1
フランス語Ⅲ	1
フランス語Ⅳ	1
フランス語Ⅴ	1
フランス語Ⅵ	1
フランス語Ⅶ	2
ドイツ語Ⅰ	1
ドイツ語Ⅱ	1
ドイツ語Ⅲ	1
ドイツ語Ⅳ	1
ドイツ語Ⅴ	1
ドイツ語Ⅵ	1
ドイツ語Ⅶ	2
イタリア語Ⅰ	1
イタリア語Ⅱ	1
イタリア語Ⅲ	1
イタリア語Ⅳ	1
イタリア語Ⅴ	1
イタリア語Ⅵ	1
イタリア語Ⅶ	2
ラテン語Ⅰ	1
ラテン語Ⅱ	1
単位互換科目	
特別講義・演習	
体育Ⅰ	1
体育Ⅱ	1
英語会話Ⅴ	1
英語会話Ⅵ	1
英語会話Ⅶ	1
英語会話Ⅷ	1

音楽文化学科音楽文化専修関連学科目

授業科目	単位数
音楽理論Ⅰ	1
音楽理論Ⅱ	1
和声学Ⅰ	1
和声学Ⅱ	1
対位法	2
フーガ	2
楽曲分析Ⅰ	2
楽曲分析Ⅱ	2
管弦楽法	2
スコア・リーディング	2
宗教音楽Ⅰ	2
宗教音楽Ⅱ	2
音楽史Ⅰ	2
音楽史Ⅱ	2
音楽史Ⅲ	2
音楽史Ⅳ	2
西洋器楽史Ⅰ	2
西洋器楽史Ⅱ	2
西洋器楽史Ⅲ	2
西洋器楽史Ⅳ	2
西洋声楽史Ⅰ	2
西洋声楽史Ⅱ	2
世界音楽文化Ⅰ	2
世界音楽文化Ⅱ	2
指揮法Ⅰ	2
指揮法Ⅱ	2
合唱Ⅰ	4
合唱Ⅱ	4
合奏Ⅰ	4
合奏Ⅱ	4
合奏Ⅲ	4
合奏Ⅳ	4
合奏Ⅴ	4
合奏Ⅵ	4
合奏・伴奏法Ⅰ	2
合奏・伴奏法Ⅱ	2
即興演習Ⅰ	1
即興演習Ⅱ	1
合奏・伴奏実習	1
ソルフェージュⅠ	2
ソルフェージュⅡ	2
ソルフェージュⅢ	2
単位互換科目	
特別講義・演習	

音楽文化学科音楽文化専修 主要学科目
音楽創作領域<作曲>

授業科目	単位数
音楽文化概論Ⅰ(研究)	2
音楽文化概論Ⅱ(創作)	2
音楽文化概論Ⅲ(教育)	2
音楽文化概論Ⅳ(応用)	2
上級和声と近代和声	2
作曲技法研究	2
DTM初級	2
DTM中・上級	2
レジストレーション研究	2
西洋音楽研究	2
日本・東洋音楽研究	2
宗教音楽研究	2
音楽美学研究	2
音楽教育と発達	2
音楽教育と社会	2
初等科音楽教育	2
中等科音楽教育	2
典礼音楽Ⅰ	2
典礼音楽Ⅱ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅰ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅱ	2
コミュニケーション心理学	2
アートマネジメント	2
基礎演習	2
音楽文化研究演習Ⅰ	2
音楽文化研究演習Ⅱ	2
音楽文化卒業演習Ⅰ	2
音楽文化卒業演習Ⅱ	2
学内発表	2
卒業研究	2
作曲研究	24
民俗音楽研究	16
声楽B	8
鍵盤楽器B-Ⅰ	8
鍵盤楽器B-Ⅱ	8
デジタル鍵盤楽器B	8
管弦打楽器B-Ⅰ	8
管弦打楽器B-Ⅱ	8
和太鼓アンサンブル	2
単位互換科目	
特別講義・演習	

音楽文化学科音楽文化専修 主要学科目
音楽創作領域<デジタル鍵盤楽器>

授業科目	単位数
音楽文化概論Ⅰ(研究)	2
音楽文化概論Ⅱ(創作)	2
音楽文化概論Ⅲ(教育)	2
音楽文化概論Ⅳ(応用)	2
レジストレーション研究	2
作曲技法研究	2
DTM初級	2
DTM中・上級	2
上級和声と近代和声	2
西洋音楽研究	2
日本・東洋音楽研究	2
宗教音楽研究	2
音楽美学研究	2
音楽教育と発達	2
音楽教育と社会	2

初等科音楽教育	2
中等科音楽教育	2
典礼音楽Ⅰ	2
典礼音楽Ⅱ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅰ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅱ	2
コミュニケーション心理学	2
アートマネジメント	2
基礎演習	2
音楽文化研究演習Ⅰ	2
音楽文化研究演習Ⅱ	2
音楽文化卒業演習Ⅰ	2
音楽文化卒業演習Ⅱ	2
学内発表	2
卒業研究	2
デジタル鍵盤楽器奏法研究	24
民俗音楽研究	16
作曲B	8
声楽B	8
鍵盤楽器B-Ⅰ	8
鍵盤楽器B-Ⅱ	8
管弦打楽器B-Ⅰ	8
管弦打楽器B-Ⅱ	8
和太鼓アンサンブル	2
単位互換科目	
特別講義・演習	

音楽文化学科音楽文化専修 主要学科目
音楽研究領域(音楽学・宗教音楽学)

授業科目	単位数
音楽文化概論Ⅰ(研究)	2
音楽文化概論Ⅱ(創作)	2
音楽文化概論Ⅲ(教育)	2
音楽文化概論Ⅳ(応用)	2
西洋音楽研究	2
日本・東洋音楽研究	2
宗教音楽研究	2
音楽美学研究	2
上級和声と近代和声	2
レジストレーション研究	2
作曲技法研究	2
DTM初級	2
DTM中・上級	2
音楽教育と発達	2
音楽教育と社会	2
初等科音楽教育	2
中等科音楽教育	2
典礼音楽Ⅰ	2
典礼音楽Ⅱ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅰ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅱ	2
コミュニケーション心理学	2
アートマネジメント	2
楽書講読(英語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(英語)Ⅲ・Ⅳ	2
楽書講読(フランス語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(ドイツ語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(イタリア語)Ⅰ・Ⅱ	2
基礎演習	2
音楽文化研究演習Ⅰ	2
音楽文化研究演習Ⅱ	2
音楽文化卒業演習Ⅰ	2
音楽文化卒業演習Ⅱ	2

学内発表	2
卒業研究	2
声楽A	14
鍵盤楽器A- I	14
鍵盤楽器A- II	14
管弦打楽器A- I	14
管弦打楽器A- II	14
民俗音楽研究	16
作曲B	8
声楽B	8
鍵盤楽器B- I	8
鍵盤楽器B- II	8
デジタル鍵盤楽器B	8
管弦打楽器B- I	8
管弦打楽器B- II	8
和太鼓アンサンブル	2
単位互換科目	
特別講義・演習	

音楽文化学科音楽文化専修 主要学科目
音楽教育領域

授業科目	単位数
音楽文化概論Ⅰ(研究)	2
音楽文化概論Ⅱ(創作)	2
音楽文化概論Ⅲ(教育)	2
音楽文化概論Ⅳ(応用)	2
音楽教育と発達	2
音楽教育と社会	2
初等科音楽教育	2
中等科音楽教育	2
上級和声と近代和声	2
レジストレーション研究	2
作曲技法研究	2
DTM初級	2
DTM中・上級	2
西洋音楽研究	2
日本・東洋音楽研究	2
宗教音楽研究	2
音楽美学研究	2
典礼音楽Ⅰ	2
典礼音楽Ⅱ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅰ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅱ	2
コミュニケーション心理学	2
アートマネジメント	2
楽書講読(英語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(英語)Ⅲ・Ⅳ	2
楽書講読(フランス語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(ドイツ語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(イタリア語)Ⅰ・Ⅱ	2
基礎演習	2
音楽文化研究演習Ⅰ	2
音楽文化研究演習Ⅱ	2
音楽文化卒業演習Ⅰ	2
音楽文化卒業演習Ⅱ	2
学内発表	2
卒業研究	2
声楽A	14
鍵盤楽器A- I	14
鍵盤楽器A- II	14
管弦打楽器A- I	14
管弦打楽器A- II	14
民俗音楽研究	16
作曲B	8
声楽B	8
鍵盤楽器B- I	8
鍵盤楽器B- II	8
デジタル鍵盤楽器B	8
管弦打楽器B- I	8
管弦打楽器B- II	8
和太鼓アンサンブル	2

作曲B	8
声楽B	8
鍵盤楽器B- I	8
鍵盤楽器B- II	8
デジタル鍵盤楽器B	8
管弦打楽器B- I	8
管弦打楽器B- II	8
和太鼓アンサンブル	2
単位互換科目	
特別講義・演習	

音楽文化学科音楽文化専修 主要学科目
音楽コミュニケーションデザイン領域

授業科目	単位数
音楽文化概論Ⅰ(研究)	2
音楽文化概論Ⅱ(創作)	2
音楽文化概論Ⅲ(教育)	2
音楽文化概論Ⅳ(応用)	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅰ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅱ	2
コミュニケーション心理学	2
アートマネジメント	2
音楽教育と発達	2
音楽教育と社会	2
初等科音楽教育	2
中等科音楽教育	2
上級和声と近代和声	2
レジストレーション研究	2
作曲技法研究	2
DTM初級	2
DTM中・上級	2
西洋音楽研究	2
日本・東洋音楽研究	2
宗教音楽研究	2
音楽美学研究	2
典礼音楽Ⅰ	2
典礼音楽Ⅱ	2
楽書講読(英語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(英語)Ⅲ・Ⅳ	2
楽書講読(フランス語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(ドイツ語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(イタリア語)Ⅰ・Ⅱ	2
基礎演習	2
音楽文化研究演習Ⅰ	2
音楽文化研究演習Ⅱ	2
音楽文化卒業演習Ⅰ	2
音楽文化卒業演習Ⅱ	2
学内発表	2
卒業研究	2
声楽A	14
鍵盤楽器A- I	14
鍵盤楽器A- II	14
管弦打楽器A- I	14
管弦打楽器A- II	14
民俗音楽研究	16
作曲B	8
声楽B	8
鍵盤楽器B- I	8
鍵盤楽器B- II	8
デジタル鍵盤楽器B	8
管弦打楽器B- I	8
管弦打楽器B- II	8
和太鼓アンサンブル	2

単位互換科目	
特別講義・演習	

音楽文化学科幼児音楽教育専修関連学科目

授業科目	単位数
音楽理論Ⅰ	1
音楽理論Ⅱ	1
和声学Ⅰ	1
和声学Ⅱ	1
対位法	2
フーガ	2
楽曲分析Ⅰ	2
楽曲分析Ⅱ	2
管弦楽法	2
スコア・リーディング	2
宗教音楽Ⅰ	2
宗教音楽Ⅱ	2
音楽史Ⅰ	2
音楽史Ⅱ	2
音楽史Ⅲ	2
音楽史Ⅳ	2
西洋器楽史Ⅰ	2
西洋器楽史Ⅱ	2
西洋器楽史Ⅲ	2
西洋器楽史Ⅳ	2
西洋声楽史Ⅰ	2
西洋声楽史Ⅱ	2
世界音楽文化学Ⅰ	2
世界音楽文化学Ⅱ	2
指揮法Ⅰ	2
指揮法Ⅱ	2
合奏Ⅰ	4
合奏Ⅱ	4
合奏Ⅲ	4
合奏Ⅳ	4
合奏Ⅴ	4
合奏Ⅵ	4
合奏・伴奏法Ⅰ	2
合奏・伴奏法Ⅱ	2
即興演習Ⅰ	1
即興演習Ⅱ	1
合奏・伴奏実習	1
ソルフェージュⅠ	2
ソルフェージュⅡ	2
ソルフェージュⅢ	2
単位互換科目	
特別講義・演習	

(2019年度入学生適用)

音楽文化学科幼児音楽教育専修 主要学科目

授業科目	単位数
音楽文化概論Ⅰ(研究)	2
音楽文化概論Ⅱ(創作)	2
音楽文化概論Ⅲ(教育)	2
音楽文化概論Ⅳ(応用)	2
上級和声と近代和声	2
レジストレーション研究	2
作曲技法研究	2
DTM初級	2
DTM中・上級	2
西洋音楽研究	2
日本・東洋音楽研究	2
宗教音楽研究	2

音楽美学研究	2
音楽教育と発達	2
音楽教育と社会	2
初等科音楽教育	2
中等科音楽教育	2
典礼音楽Ⅰ	2
典礼音楽Ⅱ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅰ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎Ⅱ	2
コミュニケーション心理学	2
アートマネジメント	2
楽書講読(英語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(英語)Ⅲ・Ⅳ	2
楽書講読(フランス語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(ドイツ語)Ⅰ・Ⅱ	2
楽書講読(イタリア語)Ⅰ・Ⅱ	2
基礎演習	2
音楽文化研究演習Ⅰ	2
音楽文化研究演習Ⅱ	2
音楽文化卒業演習Ⅰ	2
音楽文化卒業演習Ⅱ	2
学内発表	2
卒業研究	2
民俗音楽研究	16
作曲B	8
声楽B	8
鍵盤楽器B-Ⅱ	8
デジタル鍵盤楽器B	8
管弦打楽器B-Ⅰ	8
管弦打楽器B-Ⅱ	8
和太鼓アンサンブル	2
単位互換科目	
特別講義・演習	

(2020・2021年度入学生適用)

音楽文化学科 幼児音楽教育専修 主要学科目

授業科目	単位数
音楽文化概論Ⅰ(研究)	2
音楽文化概論Ⅱ(創作)	2
音楽文化概論Ⅲ(教育)	2
音楽文化概論Ⅳ(応用)	2
上級和声と近代和声	2
レジストレーション研究	2
作曲技法研究	2
DTM初級	2
DTM中・上級	2
西洋音楽研究	2
日本・東洋音楽研究	2
宗教音楽研究	2
音楽美学研究	2
音楽教育と発達	2
音楽教育と社会	2
初等科音楽教育	2
中等科音楽教育	2
典礼音楽Ⅰ	2
典礼音楽Ⅱ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎演習Ⅰ	2
音楽コミュニケーションデザイン基礎演習Ⅱ	2
コミュニケーション心理学	2
アートマネジメント	2
楽書講読(英語)Ⅰ	1
楽書講読(英語)Ⅱ	1
楽書講読(英語)Ⅲ	1

楽書講読(英語)Ⅳ	1
楽書講読(フランス語)Ⅰ	1
楽書講読(フランス語)Ⅱ	1
楽書講読(ドイツ語)Ⅰ	1
楽書講読(ドイツ語)Ⅱ	1
楽書講読(イタリア語)Ⅰ	1
楽書講読(イタリア語)Ⅱ	1
基礎演習	1
音楽文化研究演習Ⅰ	2
音楽文化研究演習Ⅱ	2
音楽文化卒業演習Ⅰ	2
音楽文化卒業演習Ⅱ	2
学内発表	2
卒業研究	2
声楽A	2
鍵盤楽器A-Ⅱ	2
管弦打楽器A-Ⅰ	2
管弦打楽器A-Ⅱ	2
民俗音楽研究	2
作曲B	1
声楽B	1
鍵盤楽器B-Ⅱ	1
デジタル鍵盤楽器B	1
管弦打楽器B-Ⅰ	1
管弦打楽器B-Ⅱ	1
和太鼓アンサンブル	1
単位互換科目	
特別講義・演習	

(2019年度入学生適用)

音楽文化学科 幼児音楽教育専修 専修学科目

授業科目名	単位数
幼児音楽教育学Ⅰ	2
幼児音楽教育学Ⅱ	2
幼児音楽教育特殊研究Ⅰ	0.5
幼児音楽教育特殊研究Ⅱ	0.5
幼児音楽教育特殊研究Ⅲ	2
初等音楽(教科科目音楽)	2
幼児教育原理	2
保育史	2
発達心理学	2
幼児教育課程論	2
保育内容論Ⅰ(健康)	2
保育内容論Ⅱ(人間関係)	2
保育内容論Ⅲ(環境)	2
保育内容論Ⅳ(言葉)	2
保育内容論Ⅴ(表現)	2
育児支援と指導法	2
幼児教育の方法と技術	2
モンテッソーリ指導法Ⅰ	2
モンテッソーリ指導法Ⅱ	2
モンテッソーリ指導法Ⅲ	2
モンテッソーリ指導法Ⅳ	2
幼児教育方法論	2
幼児理解と保育相談	2
乳児保育	2
小児保健	2
初等国語	2
生活	2
図画工作	2
初等体育	2
合唱Ⅰ	0.5
合唱Ⅱ	0.5

鍵盤楽器A-Ⅰ	1
鍵盤楽器B-Ⅰ	1
幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅱ	1
幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅲ	1
幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅳ	1

(2020・2021年度入学生適用)

音楽文化学科 幼児音楽教育専修 専修学科目

授業科目名	単位数
幼児音楽教育学Ⅰ	2
幼児音楽教育学Ⅱ	2
幼児音楽教育特殊研究Ⅰ	0.5
幼児音楽教育特殊研究Ⅱ	0.5
幼児音楽教育特殊研究Ⅲ	2
初等音楽(教科科目音楽)	2
幼児教育原理	2
保育史	2
発達心理学	2
幼児教育課程論	2
保育内容論Ⅰ(健康)	2
保育内容論Ⅱ(人間関係)	2
保育内容論Ⅲ(環境)	2
保育内容論Ⅳ(言葉)	2
保育内容論Ⅴ(表現)	2
育児支援と指導法	2
幼児教育の方法と技術	2
モンテッソーリ指導法Ⅰ	2
モンテッソーリ指導法Ⅱ	2
モンテッソーリ指導法Ⅲ	2
モンテッソーリ指導法Ⅳ	2
幼児教育方法論	2
幼児理解と保育相談	2
乳児保育	2
小児保健	2
初等国語	2
生活	2
図画工作	2
初等体育	2
合唱Ⅰ	0.5
合唱Ⅱ	0.5
鍵盤楽器A-Ⅰ	2
鍵盤楽器B-Ⅰ	1
幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅰ	1
幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅱ	1
幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅲ	1
幼児音楽(ピアノ・うた)基礎技能Ⅳ	1

演奏学科関連学科目

授業科目	単位数
音楽理論Ⅰ	1
音楽理論Ⅱ	1
和声学Ⅰ	1
和声学Ⅱ	1
対位法	2
フーガ	2
楽曲分析Ⅰ	2
楽曲分析Ⅱ	2
管弦楽法	2
スコア・リーディング	2
宗教音楽Ⅰ	2
宗教音楽Ⅱ	2
音楽史Ⅰ	2
音楽史Ⅱ	2

音楽史Ⅲ	2
音楽史Ⅳ	2
西洋器楽史Ⅰ	2
西洋器楽史Ⅱ	2
西洋器楽史Ⅲ	2
西洋器楽史Ⅳ	2
西洋声楽史Ⅰ	2
西洋声楽史Ⅱ	2
世界音楽文化Ⅰ	2
世界音楽文化Ⅱ	2
指揮法Ⅰ	4
指揮法Ⅱ	2
合奏・伴奏法Ⅰ	2
合奏・伴奏法Ⅱ	2
即興演習Ⅰ	1
即興演習Ⅱ	1
合奏・伴奏実習	1
ソルフェージュⅠ	1
ソルフェージュⅡ	1
ソルフェージュⅢ	1
単位互換科目	
特別講義・演習	

演奏学科主要学科目

授業科目	単位数
声楽研究	24
鍵盤楽器奏法研究Ⅰ	24
鍵盤楽器奏法研究Ⅱ	24
管弦打楽器奏法研究Ⅰ	24
管弦打楽器奏法研究Ⅱ	24
学内演奏	2
卒業演奏	2
パフォーマンス・フォーラムⅠ	1
パフォーマンス・フォーラムⅡ	1
室内楽(声楽)	4
室内楽(ピアノ)	4
室内楽(木管楽器)	4
室内楽(金管)	4
室内楽(打楽器)	4
室内楽(弦楽器)	4
歌曲研究Ⅰ	2
歌曲研究Ⅱ	2
オペラ研究Ⅰ	2
オペラ研究Ⅱ	2
ピアノ指導法Ⅰ	2
ピアノ指導法Ⅱ	2
ピアノ構造学	2
オルガン構造学	2
吹奏楽指導法Ⅰ	2
吹奏楽指導法Ⅱ	2
マーチング指導法	2
編曲法(合唱)	2
編曲法(合奏)	2
合唱研究Ⅰ	4
合唱研究Ⅱ	4
合奏研究Ⅰ	4
合奏研究Ⅱ	4
合奏研究Ⅲ	4
合奏研究Ⅳ	4
合奏研究Ⅴ	4
合奏研究Ⅵ	4
作曲	8
声楽	8

鍵盤楽器Ⅰ	8
鍵盤楽器Ⅱ	8
管弦打楽器Ⅰ	8
管弦打楽器Ⅱ	8
単位互換科目	
特別講義・演習	

全学共通特殊講義

授業科目	単位数
音楽づくりⅠ	2
音楽づくりⅡ	2
ミュージカル創作	2
ミュージカル上演	2
音楽療法Ⅰ	2
音楽療法Ⅱ	2
コンサートマネジメントⅠ	2
コンサートマネジメントⅡ	2

(2019年度入学生適用)

保育内容の指導法に関する科目(幼稚園一種免許)

授業科目	単位数
保育内容論Ⅰ(健康)	2
保育内容論Ⅱ(人間関係)	2
保育内容論Ⅲ(環境)	2
保育内容論Ⅳ(言葉)	2
保育内容論Ⅴ(表現)	2
モンテッソーリ指導法Ⅰ	2
モンテッソーリ指導法Ⅱ	2

教育の基礎的理解に関する科目等(幼稚園一種免許)

授業科目	単位数
教師論	2
幼児教育原理	2
保育史	2
教育史	2
発達心理学	2
教育心理学	2
特別支援教育概論	1
幼児教育課程論	2
幼児教育方法論	2
育児支援と指導法	2
幼児教育の方法と技術	2
幼児理解と保育相談	2
教育実習事前事後指導(幼)	1
幼稚園教育実習Ⅰ(幼)	2
幼稚園教育実習Ⅱ(幼)	2
教職実践演習(幼)	2

教育の基礎的理解に関する科目等(中学校・高等学校一種免許)

授業科目	単位数
教師論	2
教育原理	2
教育史	2
教育心理学	2
発達心理学	2
特別支援教育概論	1
教育課程論	2
道徳教育の理論と実践	2
総合的な学習の時間の指導法	1
特別活動の指導法	1
教育方法論	2
生徒・進路指導論	2
教育相談	2

教育実習事前事後指導(中・高)	1
教育実習Ⅰ(中・高)	2
教育実習Ⅱ(中・高)	2
教職実践演習(中・高)	2

教科及び教科の指導法に関する科目(中学校・高等学校一種免許)

授 業 科 目 名	単 位 数
声楽(教職)	1
器楽(教職)	1
作曲(教職)	2
音楽科教育法Ⅰ	2
音楽科教育法Ⅱ	2
音楽科教育法Ⅲ	2
音楽科教育法Ⅳ	2

別表Ⅱ

【エリザベト音楽大学 学費】

項 目	2004年度以降 入学生金額	2003年度以前 入学生金額	備 考
入 学 金	200,000円	400,000円	初年度のみ。入学手続き時に納付。
授業料A 〔基本学費〕	325,000円	300,000円	(前期分)
	325,000円	300,000円	(後期分)
授業料B 〔単位授業料〕	28,000円	28,000円	前期分は前期履修科目決定後に納付。
	(1単位)	(1単位)	後期分は後期履修科目決定後に納付。

※ 休学者の在籍登録料は授業料A〔基本学費〕の半額とする。学期開始以前に手続きを終えた場合に適用。

【標準学費：次の学生に適用】

- ・留学生（エリザベト音楽大学で学ぶ外国人学生）
- ・交換留学生（交換留学生として海外の大学で学ぶエリザベト音楽大学学生）

項 目	2004年度以降 入学生金額	2003年度以前 入学生金額	備 考
入学金	200,000円	400,000円	初年度のみ。入学手続き時に納付。
授業料A 〔基本学費〕	325,000円	300,000円	(前期分)
	325,000円	300,000円	(後期分)
授業料B 〔標準授業料〕	434,000円	434,000円	(前期分)
	434,000円	434,000円	(後期分)

※ 休学者の在籍登録料は授業料A〔基本学費〕の半額とする。学期開始以前に手続きを終えた場合に適用。

(2010年度入学生より適用)

音楽文化学科音楽文化専修・演奏学科

項 目	金 額	備 考
入学金	300,000円	初年度のみ。入学手続き時に納付。
授業料（年額）	1,300,000円	前期・後期の分納
施設維持費 （年額）	300,000円	前期・後期の分納

※ 教職課程履修者は2年次以降毎年履修費（100,000円）が必要。

音楽文化学科幼児音楽教育専修

項 目	金 額	備 考
入学金	300,000円	初年度のみ。入学手続き時に納付。
授業料（年額）	850,000円	前期・後期の分納
施設維持費 （年額）	300,000円	前期・後期の分納
実習費（年額）	25,000円	前期・後期の分納

別表Ⅲ

【科目等履修料】

項 目	金 額	備 考
入学金	30,000円	
登録料	2,500円	各学期
履修料(1単位)	30,000円	

学則変更の事由及び変更点

(1) 本文変更の事由

収容定員変更(減少)により、安定した経営と教育の質の向上に努め、音楽をとおした人材養成に取組み、社会に貢献するため。

(2) 変更点

- ① 第10章第29条の表、音楽文化学科の入学定員を20人から15人に変更する。
- ② ①に伴い、音楽文化学科の収容定員を80人から60人に変更する。
- ③ 第10章第29条の表、演奏学科の入学定員を50人から35人に変更する。
- ④ ③に伴い、演奏学科の収容定員を200人から140人に変更する。
- ⑤ ①～④の変更に伴い、両学科入学定員合計を70人から50人に、収容定員合計を280人から200人にそれぞれ変更する。
- ⑥ 附則に「この学則は第29条を改正して2024(令和6)年4月1日から施行する。ただし、第29条に掲げる音楽文化学科・演奏学科の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。」と次表を加える。

学 科	2024(令和6) 年度収容定員	2025(令和7) 年度収容定員	2026(令和8) 年度収容定員
音楽文化学科	75 人	70 人	65 人
演奏学科	185 人	170 人	155 人
計	260 人	240 人	220 人

新旧対照表

新	旧																								
<p>第1条 ～第28条 略</p> <p>第10章 定員</p> <p>第29条 本大学の定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">学 科</th> <th style="width: 33%;">入学定員</th> <th style="width: 33%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)</td> <td><u>15</u> 人 (上記中10人)</td> <td><u>60</u> 人 (上記中40人)</td> </tr> <tr> <td>演奏学科</td> <td><u>35</u> 人</td> <td><u>140</u> 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>50</u> 人</td> <td><u>200</u> 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>第30条～第39条 略</p>	学 科	入学定員	収容定員	音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)	<u>15</u> 人 (上記中10人)	<u>60</u> 人 (上記中40人)	演奏学科	<u>35</u> 人	<u>140</u> 人	計	<u>50</u> 人	<u>200</u> 人	<p>第1条～第28条 略</p> <p>第10章 定員</p> <p>第29条 本大学の定員は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">学 科</th> <th style="width: 33%;">入学定員</th> <th style="width: 33%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)</td> <td><u>20</u> 人 (上記中10人)</td> <td><u>80</u> 人 (上記中40人)</td> </tr> <tr> <td>演奏学科</td> <td><u>50</u> 人</td> <td><u>200</u> 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>70</u> 人</td> <td><u>280</u> 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>第30条～第39条 略</p>	学 科	入学定員	収容定員	音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)	<u>20</u> 人 (上記中10人)	<u>80</u> 人 (上記中40人)	演奏学科	<u>50</u> 人	<u>200</u> 人	計	<u>70</u> 人	<u>280</u> 人
学 科	入学定員	収容定員																							
音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)	<u>15</u> 人 (上記中10人)	<u>60</u> 人 (上記中40人)																							
演奏学科	<u>35</u> 人	<u>140</u> 人																							
計	<u>50</u> 人	<u>200</u> 人																							
学 科	入学定員	収容定員																							
音楽文化学科 (幼児音楽教育専修)	<u>20</u> 人 (上記中10人)	<u>80</u> 人 (上記中40人)																							
演奏学科	<u>50</u> 人	<u>200</u> 人																							
計	<u>70</u> 人	<u>280</u> 人																							

(附 則)平成2年4月1日実施分～
(附 則)2020(令和2)年4月1日施行分 略

(附 則) この学則は、第 4 条別表 I を改正し、
2022(令和 4)年 4 月 1 日から施行する。

(附 則)この学則は第 29 条を改正して 2024(令
和 6)年 4 月 1 日から施行する。

ただし、第 29 条に掲げる音楽文化学科・演
奏学科の収容定員の学年進行については、次
のとおりとする。

学 科	2024(令和 6)年度収 容定員	2025(令和 7)年度収 容定員	2026(令和 8)年度収 容定員
音楽文化 学科	75 人	70 人	65 人
演奏学科	185 人	170 人	155 人
計	260 人	240 人	220 人

(附 則)平成2年4月1日実施分～
(附 則)2020(令和2)年4月1日施行分 略

(附 則) この学則は、第4条別表 I を改正し、2022(令
和 4)年 4 月 1 日から施行する。

(新設)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

音楽学部音楽文化学科の入学定員を現行の 20 人から 15 人に、収容定員を 80 人から 60 人に変更する。

また、音楽学部演奏学科の入学定員を現行の 50 人から 35 人に、収容定員を現行の 200 人から 140 人に変更する。

これに伴い、音楽学部の入学定員を現行の 70 人から 50 人に、収容定員を現行の 280 人から 200 人にそれぞれ変更し、令和 6 年度入学生から適用する。

このたびの変更に伴う音楽学部の学科別年度別収容定員は、次のとおりである。

〔音楽学部収容定員〕	(単位：人)			
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度以降
音楽文化学科	75	70	65	60
演奏学科	185	170	155	140
音楽学部（合計）	260	240	220	200

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

18 歳人口の減少に加え、長きにわたる「コロナ禍」のもと、音楽を志す学生が激減している。その中で本学では、収容定員を充たすために、学生募集活動に鋭意努力するとともに、手厚い奨学金制度の充実等に努めている。令和 2 年度から音楽学部演奏学科の収容定員を変更したが、入学者数は変動しているものの次のとおり音楽学部の入学定員(70)を下回る状況が続いている。このため、再度収容定員を変更(減少)したいと考える。

〔音楽学部入学者数〕	(単位：人)			
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
音楽学部入学者数	76	58	55	48

このような状況をふまえ、このたび音楽学部音楽文化学科及び演奏学科の入学定員及び収容定員を変更(減少)し、より一層個人指導を徹底して行い、本学の教育理念及び人材養成に関する目的を実現し、もって、「教養・実力・慈愛のある音楽家の育成」に着実に取り組む。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

このたびの収容定員の変更に伴う教育課程の変更、教育方法及び履修指導方法の変更並びに教員組織の変更はない。

エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

この度の収容定員の変更に伴い具体的計画の変更はないが、概要は次のとおりである。

西条校地においては、2年次に履修する体育及び2～4年次に履修するマーチング指導法（選択）の授業を西条校地に設置している体育館（実習ホール）又は運動場にて実施、また、年度初めには新入生を対象としてオリエンテーションを実施する。それ以外の全ての教育研究については幟町校地で実施する。このような計画により、西条校地での収容定員は定めていない。

なお、西条校地で行う授業については集中講義とし、「体育」は6日間、「マーチング指導法」については前・後期各2日間合計4日間の実施とし、指導は非常勤講師が担当する。専任教員は配置していないが、授業の開設日数や、後述する管理体制により支障はない。

学生の移動は、幟町校地から大学の費用負担による貸し切りバスにて行い、学生に経済的・時間的な負担がかからないよう配慮している。また、管理人が常駐し、西条校地の施設・設備について管理・保全を行うとともに、毎年定期的に防火訓練等を行い、授業実施時の緊急対応や不測の事態に備えている。

オ 大学設置基準第25条の4の規定に基づき授業の一部をサテライトキャンパス等の校舎以外の場所で行う場合の具体的計画

該当なし。

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
ア 定員を変更する学部を設置する大学の現状把握・分析……………	2
イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析……………	2
ウ 定員を変更する学部の趣旨目的、教育内容、定員設定等……………	2
エ 学生確保の見通し……………	3
A. 学生確保の見通しの調査結果……………	3
B. 定員を変更する学部の分野の動向……………	3
C. 中期的な18歳人口の全国的、地域的な動向等……………	4
D. 競合校の状況……………	4
E. 既設学部等の学生確保の状況……………	4
オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果……………	5
(2) 人材需要の動向等社会の要請	
① 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）……………	6
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠……………	7
資料 エリザベト音楽大学入学者数・入学定員数……………	8

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 定員を変更する学科を設置する大学の現状把握・分析

エリザベト音楽大学（以下「本学」という。）は音楽の単一学部であり、学部内に音楽文化学科、演奏学科の2学科を設置している。大学設立から学科等の設置状況には変遷はあるが、前身の広島音楽学校の設置（昭和23（1948）年）から数え75年続く、全国の中でも伝統を有する音楽大学の一つである。

本学の学部生は、資料のとおり、平成8年の656人をピークに学生数は漸減の状況をたどり、今年度（令和5年度）の5月1日現在の学部生は235名となっている。次項で述べる状況を踏まえると、現状の収容定員のままでは十分な充足率が得られないことから、収容定員の変更（減）することとした。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

中央教育審議会大学部会においても示されたとおり、急速に進む18歳人口の減少がベースにあり、さらに3年前からのコロナ禍において、音楽活動が極めて制限される状況が続いた。このような中、音楽の道をめざす高校生の減少は顕著であり、高等学校に訪問して生徒の大学の志望状況を聞いてみても、音楽の道を志す生徒は著しく減少している感触を得ている。また、音楽を学ぶ者は、著名な演奏家等が活動している東京を目指す者が多く、地方に立地する本学においては、学生獲得に苦戦を強いられている。

そのような中でも、中・四国、九州地方に特化・強化した学生募集を行うとともに、音楽文化学科に幼児教育専修を設置するなど、地元志向の強い学生の獲得にも注力しているところである。

ウ 収容定員を変更する趣旨目的、教育内容、定員設定等

上述のとおり、本学をとりまく状況は厳しいものがあるが、後述のとおり、地元、またはできるだけ近い地域において音楽を専門的に学びたいという層や、師弟関係により本学で学びたいという学生が存在するため、今後も一定数の学生は確保できる見込みはある。

一方、音楽大学は教育課程に各専攻楽器の個人レッスンを必要とし、そのことで授業料が他の学部・学科等に比して高い。しかし、音楽を学びたいと意欲のある学生には、経済的に厳しい中でも音楽の道をあきらめさせないようにする必要がある。本学においても各種奨学金を設けているが、本学は、高等教育の修学支援新制度の機関要件を満たす中で、授業料等減免の申請をしている本学学生が34名（14.5%）おり、それによって音楽の道をあきらめることなく、勉学に励むことができている。

この高等教育の修学支援新制度については、今後の方針に、収容定員に関する要件として「直近3年間全ての収容定員充足率が8割未満であること」と示されており、前述のとおり、学生獲得に厳しい状況が続くことが想定されている中で、現在のままの収容定員であれば充足率が8割を切ってしまうことが予想される。よって、収容定員を減少させることにより充足率の8割を確保し、高等教育の修学支援新制度の機関要件を満たすことで、経済的な理由により音楽の道をあきらめさせることがないようにする必要がある。

また、本学の教育課程には、合唱やオーケストラの授業があり、効果的な内容にするには一定の人数が必要であるため、大幅な収容定員の減少は行わない。

なお、今回の収容定員の減少に伴う入学金(300,000円)、授業料(年額1,300,000円)に変更はない。また、教育内容についても変更はないが、収容定員が減ることによって、これまでよりもさらに、個人レッスンを中心とした個別最適な学びを充実させていく。

エ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

収容定員減の変更ではあるが、前述のとおり、本学には、地元志向の強い層と師弟関係等により本学を志望する学生が一定数いる。オープンキャンパス(年4回実施)において、参加者にアンケートを実施しており、その結果は以下のとおりである。

令和4年度	6月	7月	8月	10月
参加者数	44	54	60	31
うち高校3年生	34	28	23	11
うち本学志望	19	17	17	8

令和5年度	6月	7月	8月	10月
参加者数	33	36	61	79
うち高校3年生	16	12	18	18
うち本学志望	4	2	5	9

(延べ人数)

B. 音楽学部等の分野の動向

同分野を有する近隣大学は、同県同市にある広島文化学園大学学芸学部音楽学科、岡山県にあるくらしき作陽大学音楽学部音楽学科がある。各大学の学生数については次表のとおりであり、近隣地域において一定数の学生が音楽の分野に進学している。

また、九州には有力な4年制の音楽学部等が存在せず、遠方への進学を望まない層については、広島県や岡山県に存在する音楽系の学科のある大学を志望するものと思われる。今後も継続した学生数の確保が予想される。

〔広島文化学園大学学芸学部音楽学科〕

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収容定員	170	170	160	165	160
学生数	147	160	182	173	168
充足率(%)	86.5	94.1	113.8	104.8	105.0

〔くらしき作陽大学音楽学部音楽学科〕

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収容定員	280	280	280	280	280
学生数	177	168	174	191	176
充足率(%)	63.2	60.0	62.1	68.2	62.9

日本私立大学協会中・四国支部実態調査から

C. 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向

全国的な 18 歳人口の急速な減少は学校基本調査等の結果でも明らかである。また本学が立地する広島県の動向については、以下の表のとおりであり、国全体の動向と同じく、高等学校卒業生数は減少してきているが、大学等への進学率は上昇傾向にある。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
高校卒業生数	11,835	11,820	11,860	11,410	11,428
大学等進学者数	7,385	7,251	7,412	7,209	7,287
進学率(%)	62.4	61.3	62.5	63.2	63.7

学校基本数調査（広島県）の結果報告から

D. 競合校の状況

本学の競合校としては、同市内に立地し、約 7 km しか離れていない広島文化学園大学学芸学部音楽学科が考えられる。同大音楽学科においては前述 B. の項で示したとおり、令和 3 年度から継続して収容定員を越えており、学生の獲得において本学より優位に立っていることが言える。

両校を授業料と入試項目の音楽に係る専門科目を比較すると次表のとおりとなり、広島文化学園大学のほうが、受験生にとって優位の状況となり、とりわけ本学においては、音楽の専門科目において高等学校までの学校教育のみでは習得できない楽典、ソルフェージュ、副科ピアノが課されている。音楽の専門教育を受けるには欠くことができない技能とはいえ、特に吹奏楽部や合唱部で習得した技能のみで受験することが困難となり、結果、そのような学生が広島文化学園大学に流れているものと考えられる。ただし、考え方を変えれば、広島市内に立地する両大学で音楽を学ぶ学生数は、過去 3 年間、継続して 400 人を越えている状況があり、本学においても、学生確保について工夫の余地があるといえる。

【授業料】

	入学金	授業料	施設設備費	その他
本学（幼児音楽教育専修以外）	300,000 円	1,300,000 円	300,000 円	—
本学（幼児音楽教育専修）	〃	850,000 円	300,000 円	48,000 円
広島文化学園大学	250,000 円	890,000 円	380,000 円	50,000 円

広島文化学園大学 HP から

【入試項目（一般）】

	音楽に係る専門科目
本学	実技（専攻）、楽典、ソルフェージュ、副科ピアノ
広島文化学園大学	実技（専攻）のみ

広島文化学園大学 HP から

E. 既設学部の学生確保の状況

① 過去 5 年間の音楽文化学科の志願状況 (人)

音楽文化学科	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	平均
音楽文化専修	7	5	6	7	7	6.4
幼児音楽教育専修	11	15	9	6	10	10.2
音楽文化学科（合計）	18	20	15	13	17	16.6

②過去 5 年間の演奏学科の志願状況 (人)

演奏学科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
声楽専攻	6	12	11	5	8	8.4
鍵盤楽器専攻	17	20	18	25	15	19.0
管弦打楽器専攻	24	31	24	26	21	25.2
演奏学科 (合計)	47	63	53	56	44	52.6

上記のとおり、過去 5 年間の両学科の志願状況から、漸減傾向にあるものの、音楽文化学科幼児音楽教育専修、演奏学科鍵盤楽器専攻・管弦打楽器専攻については、毎年一定数の志願数があり、今後も志願者数は継続するものと考えられる。

③過去 5 年間の音楽文化学科の入学者数(秋入学を含む) (人)

音楽文化学科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
音楽文化専修	7	4	7	5	4	5.0
幼児音楽教育専修	9	15	8	5	15	10.4
音楽文化学科 (合計)	15	19	15	10	14	14.4

過去 5 年間の演奏学科の入学者数(秋入学を含む) (人)

演奏学科	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
声楽専攻	5	10	8	5	7	7.0
鍵盤楽器専攻	17	19	14	19	12	16.2
管弦打楽器専攻	16	29	21	20	15	20.0
演奏学科 (合計)	38	58	43	44	34	43.2

音楽文化学科における入学者数は、年度により変動はあるものの、幼児音楽教育専修の入学者の維持は見込まれる。しかし、演奏学科における入学者数は、令和2年度では大幅な増加がみられたが、その後は減少傾向となっている。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

エリザベト音楽大学では、第3号基本金を継続的に保持運用することによる奨学金制度を充実させ、入学試験時の成績、資格試験等の合格、海外留学への支援、各種コンクールへの出場への補助をきめ細かく行い、学生の音楽活動等が積極的に行えるようにしている。この奨学金の充実は他の音楽大学を大きく引き離している。しかし、このことが必ずしも高等学校に伝わっておらず、本学の授業料は高いとのイメージが先行している実態がある。今後、本学が実施している奨学金の周知徹底に努め、奨学金の活用により他の学部と同等あるいはそれ以下の学費で音楽の専門教育を受けることができることをアピールし、志願者の獲得に取り組む。

広報活動は、効果的な学生募集活動を教職員が一体となって行っている。今年度は、中・四国及び九州地区全18会場で進学ガイダンスを実施し、高校生との面談、専任教員によるコンサートや実技レッスンを行い、音楽大学での学習内容を伝え、本学の魅力を伝えている。また、教職員で分担し、これまで本学に入学実績のある高等学校、音楽科が設置されている高等学校、吹奏楽や合唱の部活動において実績のある高等学校を中心に特に中・四国及び九州を中心として訪問を行い、本学の概要・特色・魅力を伝え

るとともに、音楽大学志望者の発掘、音楽大学の学びを知るための出前授業のPRなどを行っている。さらに、今年度からの新たな取り組みとして、山陰（島根県・鳥取県）、山口県、福岡県、熊本県、大分県にエリアパートナーとして本学の卒業生を任命し、各地域の高等学校訪問、イベントやガイダンス等での情報収集、レスナー訪問による大学紹介などの業務を担わせ、本学教職員との連携を密にすることによって、各地域の情報をきめ細かく把握できるようにしている。これらのことにより、各地域の具体的な情報を把握することができ、ピンポイントの効果的な広報活動を行っている。

本学内で実施する企画としては、年間4回実施するオープンキャンパス、春休みのスプリング・フェスティバル（教員・学生による演奏会、講演会ほか）、定期演奏会、クリスマスコンサート、エリザベトコンサートなど、多くの進学希望者が本学を知る機会としている。さらには、西条キャンパスのある東広島市と包括連携協定を結び、同市内において、中学校吹奏楽実技講習会、こどものためのミニオペラ、美術館コンサートや野外コンサートなどを実施し、地域社会でも本学の存在感を高めている。

また今後予想される少子化への対策として、幼稚園から高校生までが学ぶ大学付属音楽園では、音楽大学の教員が直接指導する機会を設けるなど、音楽大学への進学意欲を醸成する場としてさらなる活性化に取り組む。

さらには、広島県吹奏楽連盟や広島県合唱連盟の主催行事等に協力し、本学の会場提供等を行うことにより、幼稚園から高校生までが何らかの形で本学ホールにおいて演奏する機会を提供し、本学のさらなる認知を図る。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の研究教育上の目的（概要）

エリザベト音楽大学では「カトリシズムの精神に基づいて教育を施し、広く知識を授けるとともに、深く音楽芸術に関する理論及び技能を教授研究し、良識ある音楽家を育成することを」（『学則』第1条）を主たる目的として大学教育を行っている。さらに教育理念を次のように定め（「《 教養・実力・慈愛のある音楽家の育成 》カトリシズム（普遍性）の精神に基づき、幅広い教養・専門教育をとおして、自分を高め、「他者のために生きる」人材を養成する。音楽芸術及び音楽教育に関する理論、技能及び実践の教授研究により、真に芸術を愛し「美」の追求に真摯な人材を養成する。平和を愛し、地域社会及び国際社会、とりわけアジア地域に貢献する人材を養成する。」）、大学全体としてこのような人材養成を行う教育を実践している。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

エリザベト音楽大学においては下記3か年のデータにあるように、卒業生の進路実績として、大別して(1) 教育職員、(2) 公務員（音楽）、(3) 音楽産業講師、一般企業等、(4) 進学に分かれ、それぞれ学士課程教育の成果（「良識ある音楽家」）を実践する場で活動している。

創立以来の伝統である音楽専門性を極めつつ幅広い教養を培っていること、学生と教員がマンツーマンで取り組む個別実技の指導、あるいは学年を越えた多人数での合唱やオーケストラ・吹奏楽等の授業経験をとおして幅広いコミュニケーション能力を備

えた卒業生は、地域社会の各方面において高い評価を得た活動をしている。また、一般企業に就職する場合でも、企業内音楽団体の指導を任されるなど、音楽大学での経験を各所で活かす活動をしていることが報告されている。さらには、長年の楽器技術等の習得の際に培った粘り強さなどの資質についても評価されている。

今後の人材需要としてはグローバルに活躍できる人材の育成であるが、海外でのレッスン体験の機会を設けたり、海外留学の経済的負担を軽減する奨学金制度を充実させたりして、グローバル社会を見据えた人材養成を積極的に進めており、留学はもちろんであるが国際交流活動に貢献する人材が増えることを期待している。

【就職状況（過去3年間）】（学部生）

(1) 教育職員		令和2年度実績 (令和3年5月現在)	令和3年度実績 (令和4年5月現在)	令和4年度実績 (令和5年5月現在)
幼稚園	専任	2	2	6
	非常勤	0	0	0
小学校	専任	2	0	1
	非常勤	2	1	1
中学校	専任	0	0	4
	非常勤	2	3	2
高等学校	専任	0	1	1
	非常勤	0	1	2
特別支援学校	専任	0	0	0
	非常勤	0	0	0

(2) 公務員他

自衛隊音楽隊	2	1	0
消防音楽隊（嘱託）	1	2	2
警察音楽隊（嘱託）	0	0	0
その他の公務員	0	0	0

(3) 音楽産業講師等

ヤマハ	0	0	0
カワイ	2	1	0
ホームレッスン	2	1	0
一般企業	9	18	21
その他	5	1	4

(4) 進学など

本学大学院	6	10	7
他大学大学院	3	1	0
専門学校等	0	1	0
留学（予定者含む）	3	0	0
本学研究生	1	1	0
本学科目等履修生	0	1	0

エリザベト音楽大学 入学者数・入学定員数(平成2(1990)年度～令和5(2023)年度)

年度	入学者数	入学定員数	充足率(新入生)	在学生数	収容定員	充足率	備考
平成2年	156	140	111.4%	559	560	99.8%	大学院修士課程設置
平成3年	161	140	115.0%	583	560	104.1%	
平成4年	165	140	117.9%	616	560	110.0%	
平成5年	160	140	114.3%	637	560	113.8%	大学院博士後期課程設置
平成6年	167	140	119.3%	643	560	114.8%	
平成7年	172	140	122.9%	653	560	116.6%	
平成8年	165	140	117.9%	656	560	117.1%	
平成9年	157	140	112.1%	652	560	116.4%	
平成10年	146	140	104.3%	629	560	112.3%	創立50周年
平成11年	142	140	101.4%	584	560	104.3%	
平成12年	150	140	107.1%	569	560	101.6%	
平成13年	116	140	82.9%	526	560	93.9%	学科改組
平成14年	133	140	95.0%	521	560	93.0%	
平成15年	103	140	73.6%	494	560	88.2%	幼児音楽教育専修開設
平成16年	114	140	81.4%	461	560	82.3%	特別奨学生入試及びアーティスト21特別入試導入
平成17年	118	140	84.3%	467	560	83.4%	玉川大学との提携により小学校教諭二種免許状取得可能
平成18年	111	140	79.3%	444	560	79.3%	
平成19年	92	140	65.7%	423	560	75.5%	
平成20年	98	140	70.0%	403	560	72.0%	創立60周年
平成21年	76	140	54.3%	368	560	65.7%	
平成22年	80	140	57.1%	348	560	62.1%	
平成23年	79	140	56.4%	336	560	60.0%	
平成24年	67	140	47.9%	301	560	53.8%	
平成25年	78	100	78.0%	303	520	58.3%	
平成26年	60	100	60.0%	286	480	59.6%	
平成27年	61	80	76.3%	261	420	62.1%	
平成28年	59	80	73.8%	264	360	73.3%	
平成29年	57	80	71.3%	235	340	69.1%	ドイツ公演
平成30年	55	80	68.8%	230	320	71.9%	
令和元年	53	80	66.3%	217	320	67.8%	
令和2年	76	70	108.6%	233	310	75.2%	
令和3年	57	70	81.4%	242	300	80.7%	
令和4年	54	70	77.1%	247	290	85.2%	
令和5年	48	70	68.6%	235	280	83.9%	創立75周年

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	川野 祐二 <平成22年4月>		修士 (文学)		音楽学部教授 (平成17年4月) エリザベト音楽大学学長 (平成22年4月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。